

# 子どもの権利・条約研究文献資料目録

2026年6月30日

子どもの権利条約総合研究所編纂

## <子どもの権利・条約研究文献資料目録の項目目次>

### A 子どもの権利・条約研究 総説

#### A-1 子どもの権利条約研究の動向、論説、条約解説書

- 『季刊子どもの権利条約』エイデル研究所 創刊（1998）～15号（2002）
- CRC 研究所主催（共催）フォーラム子どもの権利研究資料集（2003～2013）
- CRC 研究所編『子どもの権利研究』（日本評論社等）創刊（2002）～36号

■子どもの権利・人権研究・論説一般

■逐条解説・条約解説

## A-2 子どもの権利条約の制定史研究と歴史的背景

■子どもの権利条約制定前史（条約のもとになった1924宣言、1959宣言）

1) 子どもの権利宣言の制定史

○資料ファイル（山吉剛作成）

○教育法研究会研究報告

2) 国際児童年に向けて—子どもの権利宣言の条約化

○資料ファイル（国連事務総長ファイル）

■国連（人権委員会）と子どもの権利条約の制定過程（1980・36会期～1989・45会期）

○人権委員会WG議事録等

制定資料 I～XI（1980・36会期～1989・45会期）

○条約草案・成案訳文一覧

国際教育法研究会訳・子どもの人権連冊子

第一読会草案、第二読会草案、人権委員会草案、総会採択文

■ヤヌシュ・コルチャックの研究

■子どもの権利思想・文化の歩み（日本・世界）

## A-3 アジア・国際社会と子どもの権利

■アジアにおける子どもの権利研究

1) アジア子どもの権利フォーラム報告書

2) 日韓の共同研究・

3) アジア地域の子どもの権利の現状

■国際人権と教育

## A-4 政府・国会等と子どもの権利条約の批准・実施・検証

■子どもの権利条約批准をめぐる国会審議 1988～1994

■子どもの権利条約の批准への民間のとりくみ

- 子どもの人権連のとりくみ
- 条約批准への市民のとりくみ
- 子どもの権利条約批准批判の論調
- 条約批准後の民間のとりくみ
  - 子どもの人権連パンフレット
  - 批准後の民間のとりくみ
- 国連子どもの権利委員会による日本政府報告審査と総括所見（勧告）
  - \* 国連子どもの権利委員会 NGO レポート
- こども基本法に至る国内立法化の取り組み
  - 1) 資料ファイル：永井憲一委員長作成
  - 2) 各団体の子どもの権利基本法案

#### A-5 自治体子ども施策と子どもの権利条例

- 「地方自治と子ども施策」自治体シンポジウム報告書  
(2002年第1回～2026年第22回)
- 子どもの権利条例の制定と実施
  - \* 川崎市子どもの権利条例
  - \* 自治体等の子どもの権利実態意識調査報告書  
札幌市、白山市、川西市、八千代市、多治見市、志免町、立川市、西東京市  
滋賀県、高浜市ほか
- 子どもオンブズ（相談救済）制度
- 子どもにやさしいまちづくり（CFC関連）

#### A-6 民間・市民団体（子どもNPO）による子ども支援

- 子どもの権利条約フォーラム記録集（1993年～2025年）
  - 第1集（1999～2002）
  - 第2集（2003～2012）
  - 第3集（2013～2023）
- NCRC ニュースレター創刊～160号記録集

子どもの権利条約と子ども参加の動態資料 I～IX

■その他、国内外の子ども NPO の活動

## A-7 子ども研究基礎資料（白書）

■日本子どもを守る会編『子ども白書』1960年版～2025年版

■地域子ども白書

横浜、神戸、太田、松戸、宮城、八王子、品川、札幌、宝塚、国立、豊島、沖縄ほか

■その他の白書

保育白書、安全白書、青少年白書、こども家庭白書、こども若者白書、

ボランティア白書、若者ホームレス白書、子ども NPO 白書、フリースクール白書

外国人の子ども白書

■世界子供白書（ユニセフ、1984～2008）

日本語版、英語版、フランス語版

## B 子ども権利・条約研究 各説（課題別・分野別等）

### B-1 子どもの権利の学習、人権教育、普及・啓発

■ 権利学習・人権教育と子どもの権利

### B-2 子どもの意見表明・参加

■子ども・若者の参加の理論と歴史

■子ども・生徒参加の実践と学校

■子ども・生徒の参加の支援（ファシリテーター・アドボカシー）

### B-3 ありのままの自分で居る権利と子どもの居場所

- アイデンティティと子ども・若者支援
- 地域と子どもの居場所
- 子どもの危機・医療的ケア・自分を生きる権利
- 遊ぶ権利・プレーパーク

#### B-4 安心して生きる権利

- いじめ
- 子ども虐待
- 災害・安全
- その他（内申書・中退など）

#### B-5 子どもの人権と学校改革

##### 1) 少年非行問題

##### 2) 学校の管理主義と子どもの人権

- 体罰・懲戒
- 校則・管理教育問題

##### 3) 子どもの権利条約と学校改革

- 学校教職員（SSWrを含む）と親・保護者参加
- 尾木直樹著作と教育改革

##### 4) 教育権研究基礎資料

- 季刊教育法創刊～223号（総合労働研究所・エイデル研究所）
- 解説教育六法 2000年版～2019年版（三省堂）
- 教育の自由など

#### B-6 子どもの学ぶ権利と学校外の多様な学び

- オルタナティブ教育
- 不登校の子どもと学ぶ権利

#### B-7 子どもの家庭環境と福祉の権利

- 児童福祉・教育福祉と子どもの権利
- 保育・子育て支援・乳幼児の権利
  - 学童保育情報 2002～2025
- 親子・家族と子どもの権利
- 代替的な家庭ケア（児童養護・里親・養子等）

#### B-8 マイノリティ・個別の支援を必要とする子どもの権利

- 1) 障がいのある子どもと権利
- 2) ジェンダー・性と子どもの権利（女性の権利との調整） 未収録
- 3) その他のマイノリティの子どもの権利
  - ストリートチルドレン・児童労働・少年兵・外国にルーツのある子どもの権利

#### B-9 その他

未収録

- 1) 情報・メディアと子どもの権利

- 2) SDGs・地球環境と子どもの権利

## 子どもの権利・条約研究文献資料目録

### A 子どもの権利・条約研究 総説

#### A-1 子どもの権利・条約研究の動向、論説、条約解説書

##### ■『季刊子どもの権利条約』(エイデル研究所)創刊(1998)～15号(2002)

号数	特集テーマ	今日の焦点	発行年
創刊	子どもとおとなのパートナーシップ	日本政府報告の審査	1998.8
2	子どもの居場所と学びを求めて	少年法を改正すべきか	1998.11
3	地域・自治体と子どもの権利条例	子どもの権利条約フォーラム '98	1999.2
4	日本の子どもと世界の子どもをつなぐ	教育改革と子どもの権利	1999.5
5	I 子どもが力をつける権利学習 II ジェンダーフリーと子どもの権利	子ども買春・子どもポルノ禁止法の成立	1999.8
6	国連採択 10 周年記念号 使おう!! 子どもの権利条約		1999.11
7	子どもを支える地域のコーディネーター	子どもの SOS を受けとめて	2000.2
8	ストップ! 体罰・虐待	これでいいのか? 少年法の改正	2000.5
9	少年事件・性的虐待—その回復支援	君が代・日の丸問題	2000.8
10	関係不全に挑む—子どもの自治支援	教育基本法問題を考える	2000.11
11	17歳をどうのりこえるか—おとなになることを支える	自分らしく生きる権利とは	2001.2
12	解説 川崎市子どもの権利条例 条例の意義・活用・制定資料		2001.5
13	「社会奉仕活動」を創りかえる—ボランティア・社会参加へ	第二回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議	2001.8
14	自分を出せない子ども—どう向き合うか	子どもの権利をめぐる国際動向	2001.11
15	子ども参加の権利	子どもの権利条約フォーラム in 青森	2002.2

■フォーラム子どもの権利研究 資料集(2003～2013 )

	テーマ	開催年	主催
	現代日本の子ども法制と子どもの権利の展望	2003	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会
	子どもの意見表明・参加の権利の10年	2004	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会
	現代こども政策の総合的研究—少年法・教育基本法「改正」・青少年育成大綱の検討	2005	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会・児童福祉法研究会
	安心:安全と子ども支援を考える	2006	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会・児童福祉法研究会
	子どもの権利保障における公と民—誰がどのように保障するか	2007	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会・児童福祉法研究会
	「子ども関係法の『改正』と子ども現場—岐路に立つ子ども政策	2008	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会・児童福祉法研究会
	国連・子どもの権利条例採択20年の検証と展望	2009	子どもの権利条約総合研究所・子どもの人権研究会・児童福祉法研究会
	子どもの権利の国際的展開と子ども法制の転換—「子どもの権利基本法」(仮称)の制定に向けて—	2010	子どもの権利条約総合研究所
	現代の学校と子どもの権利条例 子どもの自己肯定感の総合的研究	2011	子どもの権利条約総合研究所
	現代の学校と子どもの権利条例 地域における子ども支援と子どもの権利	2012	子どもの権利条約総合研究所
	「いじめ解決」への子どもの権利:緊急提言 東日本大震災から3年 子どもの暮らし復興への提言	2013	子どもの権利条約総合研究所

■CRC 研究所編『子どもの権利研究』(日本評論社等) 創刊(2002)～36号(2025)

号数	本タイトル	特集	発行年
創刊	子どもの権利研究	子どもの権利の総合的保障と学際研究	2002.7
2	子どもの権利研究	自治体子ども施策と子どもの権利	2003.2
3	子どもの権利研究	現代子ども法制と子どもの権利の展開	2003.7
4	子どもの権利研究	子どもにやさしいまちづくり－地方分離時代の子どもの施策	2004.2
5	子どもの権利研究	子どもの意見表明・参加の権利	2004.7
6	子どもの権利研究	これからの子ども施策－なにを、どのように創るか	2005.1
7	子どもの権利研究	現代に活かす“教育と福祉の権利”	2005.7
8	子どもの権利研究	子どもの居場所づくり－いまとこれから	2006.2
9	子どもの権利研究	子育て・安心と子ども支援	2006.7
10	子どもの権利研究	10号記念特集－子どもの遊びの権利	2007.2
11	子どもの権利研究	いじめ・非行と子どもの権利	2007.7
12	子ども条例ハンドブック	子ども条例の意義・目的・主体と方法	自治体シンポ 2007 高浜
13	子どもの権利研究	岐路に立つ子ども施策	2008.8
14	子ども計画ハンドブック	子ども計画－つくる、盛り込む、評価	自治体シンポ 2008 世田谷
15	子どもの権利研究	子どもの権利条約の20年－なにが変わったのか	2009.7
16	子どもの権利学習ハンドブック	権利学習の意義－学校・市民・自治体事業	自治体シンポ 2009 札幌
17	子どもの権利研究	子どもの権利基本法の提言と子ども法制の転換／アジア子どもの権利フォーラム	2010.8
18	子どもの権利条約ガイドブック	そこが知りたい－家庭、学校、地域、少年司法、実践資料	自治体シンポ 2010 白山
19	子どもの権利研究	子どもの自己肯定感の総合的検討／東日本大震災と子ども支援／韓国初の子ども権利条約制定の意義と背景	2011.9
20	子どもの安心・安全ガイドブック	安心・安全－大地震と子ども支援	自治体シンポ 2011 泉南
21	子どもの権利研究	現代の学校・地域と子どもの権利	2012.8
22	子どもの居場所ハンドブック	居場所のあり方、課題、事例	自治体シンポ 2012 目黒
23	子どもの権利研究	いじめ防止・震災復興への子どもの権利提言	2013.8
24	子どもの権利広報ガイドブック	権利広報の意義・主体・内容・方法	自治体シンポ 2013 松本

25	子どもの権利研究	子どもの現場と権利理論との対話	2014.8
26	子どもの相談・救済ガイドブック	相談・救済のしくみー自治体・学校 自治体シンポ 2014 青森	2015.2
27	子どもの権利が拓く	18歳選挙権・多様な学び・格差貧困問題	2016.2
28	子どもの権利が拓く	教育・福祉の連携と学校支援 子ども法の今日的動向	2017.2
29	子どもの権利が拓く	子どもの現場と子どもの権利条約第4回・5回日本報告	2018.2
30	子どもの権利が拓く	多様な背景をもつ子どもの権利 こどもの権利条約第4回・5回統合日本審査と総括所見	2019.3
31	子どもの権利の新たな地平	子どもの権利条約・国連採択30年 日本批准25年 条約の総合的・効果的な実施に向けて 子ども権利条約の広報・普及	2020.3
32	子どもの権利の新たな地平	ICT(情報通信技術)・新型コロナウイルスと子どもの権利	2021.3
33	子どもの権利の新たな地平	「子ども基本法」いまと課題・子ども参加	2022.3
34	子どもの権利の新たな地平	子ども基本法と子どものウェルビーイング 子どもの権利と教育	2023.3
35	子どもの権利の新たな地平	自治体における子どもの権利条例制定と子ども参加の最前線	2024.3
36	子どもの権利の新たな地平	子どもの権利条約批准30年:新たな地平を拓くために 子どもの意見の尊重・子ども参加	2025.3

#### ■子どもの権利・人権・論説一般

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	子どもの人権大辞典	市川昭午・永井憲一	エイデル研究所	1997.9
	今、子どもの人権を考える いじめ、虐待・体罰、被害者、少年事件、家族	子どもの人権研究会	日本評論社	2013.10
	子どもの環境と人権	子どもの環境を守る会	地球環境会議	1995.10
	子どもの人権と裁判 子どもの権利条約に即して	永井憲一	法政大学出版局	1998.3
	関係的権利論 子ども権利から権利の再構成へ	大江 洋	勁草書房	2004.3
	子どもの人権 110 番 子どもたちをどのように救済できるか	子どもの人権弁護団	有斐閣	1987.9
	いま、子どもの人権を考える	子どもの人権蓮・日教組	エイデル研究所	1989.8
	子どもの人権読本	子どもの人権蓮・永井憲一・小川利夫	エイデル研究所	1990.9
	子どもの人権を尊重するって、どうするの？	神原文子	解放出版社	2015.4
	子どもの人権ルネッサンス	児玉勇二	明石書店	1995.8
	子どものための人権ノート	児玉勇二・安田秀士	明石書店	1995.9

子どもの権利と人権保障 いじめ・障がい・非行・虐待事件の弁護活動から	児玉勇二	明石書店	2015.6
子どもたちの人権	若穂井 透	朝日新聞社	1987.6
子どもの人権を考える	創価学会婦人平和委員会・福田雅章	第三文明社	1997.9
子どもの人権 新時代	津田玄児	日本評論社	1993.11
子どもの権利マニュアル	日本弁護士連合会	こうち書房	1995.9
子どもの権利ガイドブック	日本弁護士連合会	明石書店	2006.6
子どもの人権宣言 '87	子どもの人権保障をすすめる各界連絡協議会	草土文化	1987.5
今日から子どもの権利条約	子どもの人権蓮・学習研究委員会	子どもの人権蓮	1992.9
子ども法の基本構造	横田光平	信山社	2019.9

#### ■逐条解説・条約解説

著書名	編著者名	発行所	発行年
解説 子どもの権利条約 第2版	永井憲一・寺脇隆夫	日本評論社	1994.12
逐条解説 子どもの権利条約	喜多明人・森田明美・広沢 明・荒牧重人	日本評論社	2009.12
新解説 子どもの権利条約	永井憲一・寺脇隆夫・喜多明人・荒牧重人	日本評論社	2000.6
学校版 逐条解説 児童の権利条約	下村哲夫	教育出版	1995.3
逐条解説 児童の権利条約	波多野里望	有斐閣	1994.12
児童の権利条約 21世紀を新【子どもの世紀】に	下村哲夫	時事通信社	1991.4
新版 児童の権利条約	下村哲夫	時事通信社	1994.4
児童の権利条約－その内容・課題と対応	石川 稔 森田 明	一粒社	1995.5
子どもの権利条約の研究 法政大学現代法研究所叢書 12 補訂版	永井憲一	法政大学出版局	1995.3
子どもの権利条約と教育法	日本教育法学会年報 第21号	有斐閣	1992.3
子どもと法	日本法社会学会	有斐閣	1980.4
子どもの権利条約批准 30年と教育法学の課題	日本教育法学会年報 第54号	有斐閣	2025.3
検証 子どもの権利条約 市民がつくる“子どもの権利条約白書”	子どもの権利条約実行委員会	日本評論社	1997.6
学習 子どもの権利条約	子どもの権利条約ネットワーク	日本評論社	1998.11
子どもの権利条約 条約の具体化のために	日本子どもを守る会	草土文化	1995.5
子どもの権利条約 Part2 実践・検証編	日本子どもを守る会	草土文化	1997.11

世界中の子どもの権利を守る30の方法 だれひとり置き去りにしない	国際子ども権利センター・甲斐田万智子	合同出版	2019.10
子ども・権利・これから	子ども情報研究センター・堀 正嗣	明石書店	2001.9
新時代の子どもの権利 子どもの権利条約と日本の教育	喜多明人	エイデル研究所	1990.10
子どもの権利 次世代につなぐ	喜多明人	エイデル研究所	2015.7
国民の教育権と子どもの権利を求めて	山吉 剛・山吉剛追悼集編集委員会	エイデル研究所	2002.9
憲法と子どもの権利条約	広沢 明	エイデル研究所	1993.5
子どもの権利 ある野生児の生存	山本 実	明治図書	1970
子どもの権利条約実践ハンドブック	三上昭彦・林 量俣・小笠原彩子	労働旬報社	1995.3
子どもの権利条約を読む	鈴木祥蔵・山本健治	拓殖書房	1993.6
子どもの権利・親の権利「子どもの権利条約を読む」	小沢牧子	日外アソシエツ	1996.1
ハンドブック子どもの権利条約 岩波ジュニア新書 270	中野 光・小笠 毅	岩波書店	1996.1

## A-2 子どもの権利条約の制定史研究と歴史的背景

### ■子どもの権利条約制定前史(条約のもとになった 1924 宣言・1959 宣言)

#### 1)子どもの権利宣言の制定史

○資料ファイル 山吉 剛 作成ファイル

	タイトル		発行年
	国際連盟ゼネヴァ宣言・国際連合子どもの権利宣言	制定資料1	1924・1950
	国際連合子どもの権利宣言審議録(国際連盟引継)山吉ノート付	制定資料Ⅱ	1946~1950

○教育法研究会(EL 研)研究報告

	タイトル		発行年
	国連連合子どもの権利宣言の制定史研究	制定資料Ⅲ	1978・1979
	国連児童権利宣言の研究(石橋修・喜多明人・浪本勝年・山吉剛)		1979.8.30
	研究ノート児童の権利宣言の成立過程「児童問題研究」14号		1979.5.15
	研究ノート国連児童の権利宣言の成立史(中)「児童問題研究」15号		1980.9.10
	子どもの人権・国際化の現段階「児童問題研究」16号		1985.12.16

#### 2)国際児童年にむけてー子どもの権利宣言の条約化

○資料ファイル 国連事務総長 ファイル

	タイトル		発行年
	国際連合 子どもの権利宣言の条約化(国際児童年)	条約化資料 1	1978・1979

■ 国連(人権委員会)と子どもの権利条約の制定過程(1980・36 会期～1989・45 会期)

● ○人権委員会ワーキンググループ・議事録等

1980・36 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅰ	
1981・37 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅱ	
1982・38 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅲ	
1983・39 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅳ	
1984・40 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅴ	
1985・41 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅵ	
1986・42 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅶ	
1987・43 会期 国連子どもの権利条約	制定資料Ⅷ	
1988・44 会期 第一読会草案	制定資料Ⅸ	
1988.11～89.2 45会期 第二読会	制定資料Ⅹ	
1989・45会期 第二読会後半	制定資料Ⅺ	

○条約草案・成案一覧

資料名	訳・編者	発行所	発行年
国連・子どもの権利条約 第1読会草案全文(付・原文＝英文) 1979年～88年、国連・人権委員会 ワーキンググループ(第1読会)採択	国際教育法研究会	人権連	1988.10
国連・子どもの権利条約 第2読会草案全文(付・原文＝英文) 1988年12月9日 国連・人権委員会第45会期 ワーキンググループ第2読会採択	国際教育法研究会	人権連	1989.3
子どもの権利条約に関する条約 人権委員会草案全文 附＝解説・原文・資料 1989年 3月8日、国連・人権委員会第45会期採択	国際教育法研究会	人権連	1989.5
子どもの権利条約 (ブルーパンフレット)	国際教育法研究会	人権連	

■ヤヌシュ・コルチャックの研究

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	SELECTED WORKS of Janusz Korczak	MARTIN WOLINS		1967
	Janusz Korczak	Marek Jaworski		1978
	Janusz Korczak	Alicja Szlajakowa		1978
	TREBLINKA			1987
	コルチャック物語「子どもたちの王様」	ベティ・J・リフトン	サイマル出版	1988
	コルチャック先生	近藤二郎	朝日新聞社	1990
	子どもの権利条約とコルチャック先生	樋渡直哉	ほるぷ出版	1994
	私だけ助かるわけにはいかない コルチャック	モニカ・ベルツ	ほるぷ出版	1994
	コルチャック先生 岩波ジュニア新書 256	近藤康子	岩波書店	1995
	コルチャック「子どもの権利の尊重」子どもはすでに人間である	塚本智宏	子どもの未来社	2004
	コルチャック先生「子どもたちへの愛と尊敬のメッセージ」	コルチャック研究・教育フォーラム 08～09		2008
	子どもに ではなく 子どもと コルチャック先生のメッセージ	塚本智宏	かりん舎	2018
	コルチャックと「子どもの権利」の源流	塚本智宏	子どもの未来社	2019
	ヤヌシュ・コルチャックの教育実践—子どもの権利を保障する施設養育の模索	大澤亜里	六花出版	2022
	ヤヌシュ・コルチャック 映画パンフレット・論稿集			

■子どもの権利思想・文化の歩み(日本・世界)

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	<日本の子どもの権利>叢書	上笠一郎 編	久山社	1995～1996
1	子どもの権利	田村直臣		
	婦権と児童権利運動	千葉亀雄		

	児童の世紀	エレン・ケイ著 / 原田美訳
3	教育問題 子供の権利	西山哲治
4	年齢と権利	堀口 寿
5	児童と社会	生江孝之
6	児童保護問題	海野幸徳
2	復興と児童問題	東京市編纂
	労働年齢論	籠山 京著
8	児童虐待防止法解義	日本検察学会編
	児童虐待防止法解説	藤野 恵
	児童を護る	下村 宏他
9	婦人と子どもの権利	平塚らいてう
10	婦人と児童の問題	岩崎盈子
11	子供本位の家庭	安部磯雄
12	両親再教育と子供研究	上村哲弥
13	親のため子のため	岸部福雄
14	子供の感情教育	西宮藤朝
15	悪童研究	日本学童会編著
16	子供と金銭	野中 正
17	優良児を儲ける研究	高田義一郎
18	産児制限論	安部磯雄
19	プロレタリアと産児調節	中尾音吉
20	墮胎罪研究	小泉英一
	私生児保護すべきか	早田正雄
別巻	<子どもの権利> 思想の歩み	上笙一郎編
世界子どもの歴史		斎藤正二・長尾十三二 第一法規出版 1984~1986
1	先史時代	斎藤正二 (欠番)
2	古代ギリシア・ローマ	三浦一郎・長谷川博隆
3	中世	阿部謹也

4	ルネッサンス・宗教改革期	堀内 守
5	絶対主義・啓蒙主義時代	江藤恭二
6	産業革命期	宮澤康人
7	アメリカ大陸	猿谷 要
8	近代ヨーロッパ[戦間期まで]	長尾十三二
9	中国	加地伸行
10	アジア	長柄行光・我妻和男・権藤与志夫・小野沢正喜・渡辺学
11	現代	副田義也
日本子どもの歴史 全 7 巻		日本子どもの歴史編集委員 法規出版 1977
5	富国強兵下の子ども	仲 新
6	激動期の子ども	上笙一郎
7	現代の子ども	野垣義行

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	子供の権利	ジャン・シャザル	白水社	1960
	児童憲章	厚生省監修	児童福祉文化協会	1963
	子供の権利	L・パーク* A.S・ニール他	南窓社	1973
	狼に育てられた子 カマラとアマラの養育日記	J. A. L. シング	福村出版	1977
	子ども その権利と責任	ジョン・ホルト	玉川大学出版部	1977
	エレン・ケイ児童の世紀	小野寺信・小野寺百合子	富山房	1979
	教育・福祉・医療の実際 イギリスの子どもたち	M・K・プリングル/Sナイドウ	川島書店	1979
	子どもの権利 イギリス・アメリカ・日本の福祉政策史から	古川孝順	有斐閣	1985
	ソ連における子どもの権利	稲子宣子	日本評論社	1991
	与謝野晶子の思想と子どもの権利条約	都留文科大学三井ゼミ	三井研究室	1992

## A-3 アジア・国際社会と子どもの権利

### ■アジアにおける子どもの権利研究

#### 1) アジア子どもの権利フォーラム報告書

タイトル	編著者名	発行年
アジア子どもの権利フォーラム [子どもの権利研究第 17 号]	子どもの権利条約総合研究所	2010.8
第 2 回アジア子どもの権利フォーラム 2011 日本大会	アジア子どもの権利フォーラム実行委員会	2011.11

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どもの権利 アジアと日本	荒牧重人・喜多明人・森田明美	三省堂	2013.12

#### 2) 日韓の共同研究

タイトル	編著者名	発行年
国・自治体等及び国際社会における子どもの安心・安全と救済制度に関する日韓共同研究	研究代表者 喜多明人	2009.3
子ども支援と子ども参加に関する日韓共同調査報告書	子どもの権利条約総合研究所	2012.3
現代の学校・地域と子どもの権利 日韓子どもの現場交流[子どもの権利研究 21 号]	子どもの権利条約総合研究所	2012.8

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どもの権利 日韓共同	喜多明人・森田明美・荒牧重人・李在然・安東賢・李亮喜	日本評論社	2009.8

#### 3) アジアの子どもの権利の現実

著書名	編著者名	発行所	発行年
アジアの子どもと日本 [子どもの人権双書 8]	荒牧重人	明石書店	2001.6
アジアの子ども買春	ロン・オグレディ	明石書店	1993.3

アジアの子どもとセックスツーリスト 続アジアの子どもと買春	ロン・オグレディ	明石書店	1995.12
アジアの子ども買春と日本	アジアの児童買春阻止を訴える会(カスパル)	明石書店	1996.10
アジアの蝕まれる子ども 子ども労働・買春を告発する	「ストップ子どもの買春」の会	明石書店	1996.9
アジアと私たち 若者のアジア認識	村井吉敬・城戸一夫・越田稜	三一書房	1988.2
アジアの子どもと女性の社会学	萩原康生	明石書店	1996.7
子どものねだん バンコク児童買春地獄の四年間	マリー＝フランス・ボッツ	社会評論社	1997.2
フィリピンの児童労働と観光産業	ILO フィリピン・プロジェクトチーム	明石書店	2001.12
観光コースでないフィリピン	大野 俊	高文研	1997.1
日本人と東南アジア インドネシアで考える	田中 彰	小学館	1980.6
ネパールの少女買春 女性 NGO からのレポート	ABC ネパール	明石書店	1996.7
無垢の叫び 買われる子どもたち	大久保真紀	明石書店	1997.12
ロバート・キャパ写真集[戦争・平和・子どもたち]	リチャード・ウェーラン／コーネル・キャパ	宝島社	2001.1
第三世界の教育	豊田俊雄	アジア経済 研究所	1987.4
子どもを貪り食う世界	クレール・ブリセ	社会評論社	1998.11
暴力の子供たち コロンビアの少年ギャング 朝日選書 587	アロンソ・サラサール	朝日新聞社	1997.11
子どもを喰う世界	ピーター・リーライト-	晶文社	1995.7
難民キャンプの子どもたち 岩波新書 946	田沼武能	岩波書店	2005.4
未来を奪われた子どもたち	アニー・アルスブルック／アンソニー・スウィフト	明石書店	1990.12
奴隷化される子供	ロジャー・ソーヤー	三一書房	1991.11
売られていく子どもたち[貧困と飢餓] 2015年への伝言1	本木洋子・茂手木千晶	新日本出版	2005.4
学校へいけない子どもたち[教育] 2015年への伝言2	本木洋子・茂手木千晶	新日本出版	2005.5
よごれた水をのむ子どもたち[保健・医療] 2015年への伝言3	本木洋子・茂手木千晶	新日本出版	2005.6
こわされる地球の子どもたち[環境] 2015年への伝言4	本木洋子・茂手木千晶	新日本出版	2005.6
銃をもたされる子どもたち 子ども兵士 世界の子どもたちは今1	アムネスティインターナショナル日本	リブリオ出版	2008.10
働かされる子どもたち 児童労働 世界の子どもたちは今2	アムネスティインターナショナル日本	リブリオ出版	2008.11
売られる子どもたち 子どもの人身売買 世界の子どもたちは今3	アムネスティインターナショナル日本	リブリオ出版	2008.12
絵画記録 パレスチナの子どもたち	日本パレスチナ医療協会	ほるぶ出版	1988.8

■国際人権と教育

著書名	編著者名	発行所	発行年
教育条約集	荒牧重人・今井直人・喜多明人・船木正文・細金恒男	三省堂	1987.7
平和・人権・環境 教育国際資料集	堀尾輝久・河内徳子	青木書店	1998.11
国際化のなかの人権問題	上田正昭	明石書店	1998.11
無償教育と国際人権規約 未来をひらく人類史の潮流	三輪定宣	新日本出版社	2018.8
世界と出会う子ども・若者たち	楠原 彰	国土社	1995.11
国際教育の研究 平和と人権・民主主義のために	深山正光	新協出版社	2007.8
資料 現代世界の教育改革	海老原治善	三省堂	1983.8
国際人権条約資料集	芹田健太郎	有信社	1979.6
国際条約集(第四版)	横田喜三郎・高野雄一	有斐閣	1970.3
国際女性条約・資料集	国際女性法研究会	東信堂	1993.12
国際人権条約・宣言集[第二版]	田畑茂二郎・竹本正幸・松井芳朗・薬師寺公夫	東信社	1994.6
ユネスコ関係条約・勧告集	日本ユネスコ国内委員会		

## A-4 政府・国会等と子どもの権利条約の批准・実施・検証

### ■子どもの権利条約批准をめぐる国会審議 1988～1994

タイトル
子どもの権利条約をめぐる国会審議録 A 1988～1994<第116～129 通常国会>
子どもの権利条約をめぐる国会審議録 B 1989～1993<コピー版>
子どもの権利条約をめぐる国会審議録 C 1933～<通常国会における審議のすべて>
子どもの権利条約国会審議の論点等 ●「子ども」か「児童」か ●批准承認案廃案について

### ■子どもの権利条約の批准への民間の取り組み

#### ○子どもの人権連の取り組み(国際教育法研究会誌を基にして)

タイトル	発行年
子どもの人権宣言 '87	1987.5
国連・子どもの権利条約 第1読会草案全文(付・原文＝英文)1979～88 年、国連人権委員会ワーキンググループ(第1読会)採択	1988.10
国連・子どもの権利条約 第2読会草案全文(付・原文＝英文)1988 年 12 月 9 日 国連人権委員会第 45 会期ワーキンググループ第2読会採択	1988.12
子どもの権利に関する条約 人権委員会草案全文 附＝解説・原文・資料 1989 年 3 月 8 日 国連人権委員会第 45 会期採択	1989.3
子どもの権利条約	1989.12
子どもの権利条約と国内法の問題点	1990.1
子どもの権利条約 実施のための Q&A	1991.6
全政党に聞く。どう考える？子どもの権利条約	1991.11
子どもの権利条約対訳集(正文・国際研究法訳・政府役・ユニセフ仮訳)	1992.6
	1994.9
	1994.9

○資料ファイル:子どもの権利条約批准への市民の取り組み 1989～1994

○資料ファイル:子どもの権利条約批判の論調

■条約批准後の民間のとりくみ

○子どもの人権連パンフレット

今日から子どもの権利条約
入門 子どもの権利条約
私たちの 子どもの権利条約
先生、やっぱりおかし！ マンガで考える「子どもの権利条約」

○批准後の民間のとりくみーその他

タイトル	編著者名	発行年
子どもの権利条約は子どもの環境を変えるのか？	大阪弁護士会少年問題対策特別委員会	1997.2
「子どもの権利に関する条約」についての質問主意書	石井郁子、瀬古由紀子、中林よし子、藤木洋子、藤田スミ	1998.5
教育基本法と子どもの権利条約	国民教育文化総合研究所	2004.10
国連から見た日本の子どもの権利状況	日本弁護士連合会 子どもの権利委員会	2005.3

■国連子どもの権利委員会による日本政府報告審査と総括所見(勧告)

子どもの人権報告書(英文) THE INITIAL REPORT OF JAPAN UNDER ARTICLE 44, PARAGRAPH1 OF THE CONVENTION ON THE RIGHTS OF THE CHILD		1996.5.
児童の権利に関する条約 第1回政府報告(日本語仮訳)	日本政府	1996.5.
子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集Ⅰ	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.
子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集Ⅱ	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.
子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集Ⅲ	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.
子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集Ⅳ	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.

子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集V	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.
子どもの権利条約 市民・NGO 報告書 基礎報告集VI	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	1997.2.

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どもの権利条約～第1回日本政府報告	遠山真学塾	遠山真学塾	
子どもの権利条約の日本における実施状況に関する報告書	日本弁護士連合会		1997.3
問われる子どもの人権 第1回日本政府報告に関する日弁連レポート	日本弁護士連合会	こうち書房	1997.8
子どもの権利条約 日本の課題 95	子どもの人権委員会／反差別国際運動日本委員会	労働教育センター	1998.1
“ゆたかな国”日本社会における子ども期の喪失	子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会	花伝社	1997.10
子どもの権利条約のこれから	子どもの人権蓮・反差別国際運動日本委員会	エイデル研究所	1999.5
子ども期の回復 子ども“ことば”をうばわない関係を求めて	子どもの権利を守る国連 NGO.NPO 日本支部	花伝社	1999.12
児童の権利に関する条約第2回政府報告書(日本語仮訳)	日本国		2001.11
社会権規約と日本2001	社会権規約 NGO レポート連絡会議	エイデル研究所	2001.10
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集1	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集2	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集3	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集4	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集5	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集6	第2回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12

子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集 7	第 2 回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集 8	第 2 回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集 9	第 2 回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約第2回政府報告書に対する市民・NGO 基礎報告集 10	第 2 回子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会		2002.12
子どもの権利条約に基づく第 2 回政府報告に関する日本弁護士報告会の報告書	日本弁護士連合会		2003.5
Alternative Report to Second Report of the Japanese Government on the Convention on the Rights of the Child	Japan Federation of Bar Associations		2003.5
国連・子どもの権利委員会関係資料 総括所見。勧告 etc.	フォーラム子どもの権利研究 2004 実行委員会		2004.3
国連・子どもの権利委員会関係資料 第 1 回、第 2 回 総括所見など	フォーラム子どもの権利研究 2004 実行委員会		2004.3
フォーラム子どもの権利研究 2004 研究資料	フォーラム子どもの権利研究 2004 実行委員会		2004.3
国連から見た日本の子どもの権利状況	日本弁護士連合会 子どもの権利委員会		2005.3
児童の権利に関する条約 第 3 回日本政府報告(日本語仮訳)	子どもの権利条例東京市民フォーラム		2008.7
子どもの権利条約に基づく第 3 回日本政府報告及び武力紛争における子ども・子ども売買各選択議定書第 1 回日本政府報告に関する日本弁護士連合会の報告書	日本弁護士連合会		2009.7
The Japan Federation of Bar Associations' Report on the Japanese Government's Third Report on the Convention on the Rights of the Child and the Initial Reports on OPAC & OPSC	Japan Federation of Bar Associations		2009.7
国連子どもの権利委員会審査報告会	子どもの権利条約ネットワーク		2010, 6

子どもの権利条約から見た日本の子ども	子どもの権利条約 NGO レポート連絡会議	現代人文社	2011.5
問われる子どもの人権 日本の子どもたちがかかえるこれだけの問題	日本弁護士連合会		2011.12

**\*国連子どもの権利委員会 NGO レポート**

資料名	発行者	発行年
子どもの権利条約に基づく第2回日本政府報告 及び武力紛争における子ども・こども売買 各選択議定書第1回日本政府報告に関する日本弁護士連合会の報告書	日本弁護士連合会	2003.5.
子どもの権利条約に基づく第3回日本政府報告 及び武力紛争における子ども・こども売買 各選択議定書第1回日本政府報告に関する日本弁護士連合会の報告書	日本弁護士連合会	2009.7.

**■こども基本法に至る国内立法化の取り組み**

1)資料ファイル:永井憲一委員長作成

タイトル
日本教育法学会子どもの権利条約研究特別委員会(1993~1995) 子どもの権利基本法・子どもの権利(基本)条例要綱案の作成過程Ⅰ
日本教育法学会子どもの権利条約研究特別委員会(1993~1995) 子どもの権利基本法・子どもの権利(基本)条例要綱案の作成過程Ⅱ
日本教育法学会子どもの権利条約研究特別委員会(1993~1995) 子どもの権利基本法・子どもの権利(基本)条例要綱案の作成過程Ⅲ
日本教育法学会子どもの権利条約研究特別委員会(1993~1995) 子どもの権利基本法・子どもの権利(基本)条例要綱案の作成過程Ⅳ

2)各団体の子どもの権利基本法案

タイトル	編著者名	発行年
提言「子どもの権利」基本法と条例(三省堂)	日本教育法学会 子どもの権利条約研究特別委員会	1998.6
子どもの権利基本法の提言と子ども法制の転換(子どもの権利研究第17号)	子どもの権利条約総合研究所	2010.8
子どもの権利基本法案	日本弁護士連合会子どもの権利委員会	2015.4
子ども基本法案	日本財団	

## A-5 自治体子ども施策と子どもの権利条例

### ■「地方自治と子ども施策」自治体シンポジウム報告書(2002年第1回～2026年第22回)

	資料名	関係自治体	開催年
1	『地方自治と子ども施策』自治体シンポジウム 2002 報告資料集	兵庫県川西市	2002.8
2	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2003 報告資料集	川崎市	2003.10
3	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2004 報告資料集	岐阜県多治見市	2004.10
4	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2005 報告資料集	千葉県市川市	2005.10
5	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2006 報告資料集	福岡県 志免町	2006.10
6	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2007 報告資料集	愛知県高浜市	2007.10
7	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2008 報告資料集	東京都世田谷区	2008.10
8	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2009 報告資料集	札幌市	2009.9
9	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2010 報告資料集	石川県白山市	2010.10
10	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2011 報告資料集	大阪府泉南市	2011.9
11	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2012 報告資料集	東京都目黒区	2012.9
12	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2013 報告資料集	長野県松本市	2013.10
13	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2014 報告資料集	青森市	2014.10
14	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2015 報告資料集	西東京市	2015.10
15	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2016 報告資料集	兵庫県宝塚市	2016.10
16	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2017 報告資料集	福井県越前市	2017.9
17	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2018 報告資料集	福岡県宗像市	2018.10
18	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2019 報告資料集	東京都立川市	2019.10
19	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2022 報告資料集	明石市	2023.2
20	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2023 報告資料集	東京都小金井市	2024.2
21	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2024 報告資料集	名古屋市	2025.2
22	『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム 2025 報告資料集	埼玉県 三芳町	2026.2

## ■子どもの権利条例の制定と実施

著書名	編著者名	発行所	発行年
解説 子ども条例	荒牧重人、喜多明人、半田勝久	三省堂	2012.8
大阪維新の会「教育基本条例案」何が問題か？	市川 昭午	教育開発研究所	2012.1
危ない「条例」あなたの町は大丈夫か？	小坂 実	日本政策研究センター	2007.9
子どもの権利条約と子どもの権利条例 －子どもの成長と発達としあわせをめざして－	長谷川 真人	三学出版有限公司	2006.4
川崎市子どもの権利条例施行20周年記念出版 今だから明かす条例制定秘話	かわさき子どもの権利条約フォーラム	エイデル研究所	2021.6
川崎発 子ども権利条例	子どもの権利条約総合研究所	エイデル研究所	2002.5
新・地方自治ハンドブック 制度編	「暮らしと政治」編集部	新日本出版社	1991.5.
新・地方自治ハンドブック 行財政編	地方自治研究会	新日本出版社	1993.6.
青少年条例 –自由と規制の争点	清水英夫・秋吉健次	三省堂	1992.7.
条例研究業書1 条例をめぐる法律問題	兼子 仁	学陽書房	1979.5.
条例研究業書7 青少年保護条例 公安条例	奥平 康弘	学陽書房	1981.1
創・自治立法	島根自治体学会		1996.10
自治立法がまちをつくる 第11回「地方新時代」市町村シンポジウム報告書	市町村シンポジウム実行委員会	公人社	1998.12.
市民のための自治体学入門	新藤 宗幸	筑摩書房	1994.1.
現代の自治体	自治体問題研究所	自治体研究社	1972.7.
88万人のコミュニティデザイン 希望の地図の描き方	保坂 展人	ほんの木	2014.9.
地方自治の歴史と展望	宮本 憲一	自治体研究社	1986.8.

## \*川崎市子どもの権利条例

タイトル	発行年
川崎市 子どもの権利に関する行動計画 ～子どもの意見表明・参加を中心に～	2005.3
「第1次川崎市子どもの権利に関する行動計画 ～子どもの意見表明・参加を中心に～」の評価について	2008.11

第2次川崎市子どもの権利に関する行動計画(概要版) 2008～2010 年度	2008.4
第2次川崎市子どもの権利に関する行動計画 2008～2010 年度	2008.3
第3次川崎市子どもの権利に関する行動計画(概要版) 2011～2013 年度	2011.
第3次川崎市子どもの権利に関する行動計画 2011～2013 年度	2011.3
子どもの意見表明・参加 - 第1期川崎市子どもの権利委員会報告書 -	2004.9
第2期川崎市子どもの権利委員会報告書	2007.8
第3期川崎市子どもの権利委員会報告書	2010.9
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	2008.10
川崎市子ども権利条例をつくろう ～市民討議に向けて～ (経過と問題提起)	1999.6
川崎市における子どもの権利保障をめざして -「川崎市子どもの権利に関する条例」の策定にあたって- (答申)	2000.6

資料名	発行者	発行年
子どもとともに学ぶ「子どもの権利学習」 わたしもあなたも輝いて 指導資料 中学生・高校生版(2013年度版)	川崎市人権尊重研究推進会議	2013.9
子どもとともに学ぶ「子どもの権利学習」 わたしもあなたも輝いて 指導資料 中学生・高校生版(2004 年度版)	川崎市人権尊重研究推進会議	2004.7
子どもとともに学ぶ「子どもの権利学習」 みんな輝いているかい 指導資料 小学生版(2007年度版)	川崎市人権尊重研究推進会議	2007.9
かわさきし子どもの権利条例	川崎市・川崎市教育委員会	2012.
川崎市子どもの権利に関する条例 -各条文の理解のために-	川崎市・川崎市教育委員会	2001.7
子どもとともに学ぶ「子どもの権利学習」 わたしもあなたも輝いて 指導資料 中学生・高校生版(2002 年度版)	川崎市人権尊重研究推進会議	2002.10
子どもとともに学ぶ「子どもの権利学習」 わたしもあなたも輝いて 中学生・高校生版(2010 年度版)	川崎市人権尊重研究推進会議	2010.9
川崎の「子ども会議」 ガイドブック	川崎市子ども会議推進委員会	2013.3
市民グラフかわさき「ひろば」 川崎市子どもの権利条例	川崎市	2011.11
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市・川崎市子どもの権利委員会	2003.7
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市	2005.10

川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市	2008.10
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市	2012.3
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市	2015.3
川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査 報告書	川崎市	2018.3
かわこかい 提言書・報告書・回答書		
川崎市人権オンブズパーソン 令和4年度報告書	川崎市人権オンブズパーソン	2023.6
川崎市夢パーク10年間のあゆみ	川崎市夢パーク共同運営事業体	2013.12
子どもの居場所と参加活動の拠点づくりに関する検証結果について(答申)	川崎市子どもの権利委員会	2006.10
中学生・高校生版「子どもの権利学習」資料 わたしもあなたも輝いて ～だれもが自分らしく生きていくために～	川崎市人権尊重教育推進会議	2001.11
かわさきし子どもの権利条例 子ども版	川崎市・川崎市教育委員会	2001.11
川崎市子どもの権利に関する条例	川崎市・川崎市教育委員会	2001.4.
川崎市子どもの権利に関する条例	川崎市・川崎市教育委員会	2001.7
川崎市子どもの権利に関する条例 解説		2001.6
小学生版「子どもの権利学習」資料 みんな 輝いているかい ～だれもが自分らしく生きていくために～	川崎市人権尊重教育推進会議	2001.11
川崎市における子どもの権利保障をめざして -「川崎市子どもの権利に関する条例」の策定にあたって- (答申)	川崎市子どもの権利条例検討連絡会議	2000.6
(仮)準備委員会 NEWS 第1号～第6号	川崎市子ども会議準備会事務局	2001.
かわさきし子どもの権利条例 子ども版	川崎市・川崎市教育委員会	2001.11
杉並区立児童青少年センター ゆう杉並 利用案内		
川崎市人権オンブズパーソン 平成28年度報告書	川崎市人権オンブズパーソン	2017.5.
札幌市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2008.4.
白山市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2007.3
川西市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2007.3.
八千代市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2007.3.
多治見市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2007.3.
志免町子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2006.9

立川市子どもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2006.9.
獨協大学子どもリーガルセンター推進室委託調査 埼玉県こどもの安心と救済に関する実態・意識調査 報告書	子どもの権利条約総合研究所	2006.3
西東京市子どもの権利に関する意識アンケート調査 報告書	西東京市子育て支援部子育て支援課	2008.10.
子どもの権利に関する実態・意識調査	滋賀県健康福祉部児童家庭課	2004.3.
子ども(児童)の権利条約に関する自治体アンケート 報告書	子どもの人権保障をすすめる各界連絡協議会	1996.11.
『「地方自治と子ども施策」全国自治体調査』報告書	子どもの権利条約総合研究所	2004.10.
たかはま子ども市民憲章の制定と意義－憲章制定のプロセスと解説－答申	高浜市子ども憲章づくり検討委員会 高浜市子ども市民憲章普及啓発委員会	2003.8.
子どもの権利条約と権利保障に関する実態調査報告書	北海道教職員組合教育政策調査研究室	1997.7
子ども支援と子ども参加のまちづくりに関する日本・韓国および国連の総合的比較研究 2009～11年度 科学研究費補助金 研究成果報告書	研究代表;喜多明人 研究分担者;荒巻重人・吉岡直子・松倉聡史・吉永省三・浜田進士・山本克彦・半田勝久・内田塔子・安部芳絵	2012.3.

#### ■子どもオンブズ(相談救済)制度

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どもオンブズパーソン－子どものSOSを受けとめて	喜多明人・吉田恒雄・荒巻重人・黒岩哲彦	日本評論社	2001.3.
子ども支援の相談・救済 子どもが安心して相談できる仕組みと活動	荒巻重人・吉永省三・吉田恒雄・半田勝久	日本評論社	2008.3.
子どもの相談・救済と子ども支援	荒巻重人・半田勝久・吉永省三	日本評論社	2006.7.
子どもの人権弁護士と公的オンブズパーソン	瀬戸 則夫	明石書店	2003.5.
川西市子どもの人権オンブズパーソンハンドブック		川西市子どもの人権オンブズパーソン事務局	1999.7.
子どもの権利擁護と子育て支援	堀 正嗣	明石書店	2003.2.
子どもの権利オンブズワーク －豊田市子ども条例と権利擁護の実践－	木全 和己	かもがわ出版	2017.5.

ハンドブック 子どもの人権オンブズパーソン		川西市子どもの人権オンブズパーソン事務局	2001.3.
はい、子どもの人権オンブズパーソンです 兵庫県川西市の試みから	住友 剛	部落解放・人権研究所	2001.4.
公的オンブズマン 自治体行政への導入と活動	篠原一・林屋礼二	信山社	1999.8.
子どものエンパワメントと子どもオンブズパーソン	吉永 省三	明石書店	2003.8.
教育における子ども人権救済の諸相	中川 明	エイデル研究所	2016.2.

資料名	発行者	発行年
子どもの人権研究会『子どもの人権』創立20周年記念号 第48号	子どもの人権研究会	2008.9.
子どもの人権救済の手引き	日本弁護士連合会	1987.3.
第34回人権擁護大会シンポジウム 第3分科会資料 子どもの権利オンブズマン	日本弁護士連合会	1991.11.

#### ■子どもにやさしいまちづくり(CFC関連)

著書名	編著者名	発行所	発行年
自治体でとりくむ子どもの権利条約	永井 憲一	明石書店	1997.6.
子どもにやさしいまちづくり[第2集]	喜多明人・荒巻重人・森田明美・内田塔子・半田勝久	日本評論社	2013.9.
子どもにやさしいまちづくり 自治体子ども施策の現在とこれから	喜多明人・荒巻重人・森田明美・内田塔子	日本評論社	2004.11.
こどもまちづくりファンド - ミュンヘンから高知へ	卯月盛夫・畠中洋行	萌文社	2023.11.
新しい自治体の設計6 ユニバーサル・サービスのデザイン 福祉と共生の公共空間	大沢真理・大西隆・植田和弘・神野直彦・苅谷剛彦	有斐閣	2004.3.
まちづくりはノーサイド	かわばた ごへえ	ぎょうせい	1991.5.
子どものシビル・ミニマム - 視点と生活実態	阿利莫二・一番ヶ瀬康子・持田栄一・寺脇隆夫	弘文堂	1979.9.
高橋市政が川崎に遺したもの／1989～2001	「高橋市政が川崎に遺したもの」編纂委員会	川崎地方自治	2017.3.

ーバブル崩壊の試練の中で		研究センター	
川崎の挑戦 21世紀へのメッセージ	高橋 清	日本評論社	1999.11.
子育て広場武蔵野市立 0123 吉祥寺 ー地域子育て支援への挑戦	柏木恵子・森下久美子	ミネルヴァ書 房	1997.11.
地方教育委員会からの挑戦 子どもと歩む市川市の教育改革	小川正人・最首輝夫	ぎょうせい	2001.4.
挑戦する都市 ー多治見市ー 職員が語る地方自治体の現状と将来	多治見市	公人の友社	2002.5.

## A-6 民間・市民団体(子ども NPO)による子ども支援

### ■子どもの権利条約フォーラム記録集(1993年～2025年)

#### 第1集(1999年・第1回～2002年・第10回)

資料名	テーマ	開催場所	開催年月日
条約フォーラム'93	世界の子どもたちの手に条約を	千代田区	1993年11月20日・21日
条約フォーラム'94	楽しさ、出会い、気づきのある条約学習	渋谷区	1994年11月5日・6日
条約フォーラム'95	市民レベルでの条約実施の検証	渋谷区	1995年11月18日・19日
条約フォーラム'96	模擬・国連子ども権利委員会の開催	大阪市	1996年11月9日・10日
条約フォーラム'97 in 神奈川	地域からの子どもの権利実現に向けて	川崎市	1997年11月2日・3日
条約フォーラム'98 in ふくおか	“人権の木”よ、大きく育て	春日市	1998年11月14日・15日
条約フォーラム'99	国・自治体・NGO の対話を求めて	渋谷区	1999年11月27日・28日
条約フォーラム 2000 in 群馬	自分らしく生きる権利とは	高崎市	2000年11月25日・26日
条約フォーラム 2001 in あおもり	共生の森へ、こどもとおとなの自分育ち	青森市	2001年11月24日・25日
条約フォーラム 2002 in ちば	千葉発『Kid's Right's Wave』 ー子どもと市民の参画で世界が変わる	千葉市	2002年12月7日・8日

第2集(2003年・第11回～2012年・第20回)

資料名	テーマ	開催場所	開催年月日
条約フォーラム 2003 in かわにし	みんなで話そう・やってみよう“子どもとおとなのいい関係”	川西市	2003年12月6日・7日
条約フォーラム 2004 in いばらき	気づきのルール「子どもとおとなが初対面で話し合えるために」	取手市	2004年11月20日・21日
条約フォーラム 2005 in しが	子どもに権利を認めるとどうなるか	近江八幡市	2005年12月3日・4日
条約フォーラム 2006 in くまもと	子どもの力をうばうのはだれ？	熊本市	2006年11月11日・12日
条約フォーラム 2007 in ながの	僕にだって、言いたいことがある	諏訪市	2007年11月17日・18日
条約フォーラム 2008 in みえ	つながろう 大切なわたし 大切なあなた	津市	2008年11月23日・24日
条約フォーラム 2009 in とやま	今を生きる子どもたちの人権 -心の力のみなもとへ	富山市	2009年11月14日・15日
条約フォーラム 2010 in みやぎ	子どものことは子どもに聞こう	仙台市	2010年11月13日・14日
条約フォーラム 2011 in 広島	子どももおとなもしあわせなまちづくり	広島市	2011年11月12日・13日
条約フォーラム 2012 in あいち	子どももおとなも一緒により良い未来を創っていこう！	名古屋市	2012年11月24日・25日

第3集(2013年・第21回～2022年・第30回)

資料名	テーマ	開催場所	開催年月日
条約フォーラム 2013	批准20年に向けた一歩として	渋谷区	2013年11月16日・17日
条約フォーラム 2014	批准20年を踏まえてこれからの20年に向けて	新宿区	2014年11月16日
条約フォーラム 2015 in 石巻	どこにいてもつながっている	石巻市	2015年11月21日・22日
条約フォーラム 2016 in 関西	子どもが変わる・おとなが変わる・しくみは変わる	大阪市	2016年12月10日・11日
条約フォーラム 2017 in 信州	信じよう！子どもの力、おとなの心	茅野市	2017年12月2日・3日
条約フォーラム 2018 in とちぎ	おとな、子どもは関係ない！知ろう！聴こう！	足利市	2018年11月3日・4日
条約フォーラム 2019 in 東京	みんなで考えよう！「自分らしさ」って何だろう？	文京区	2019年11月16日・17日
条約フォーラム 2020 in 南砺	コロナ禍、新たな形を実現	南砺市	2020年11月14日・15日
条約フォーラム 2021 in かわさき	手を取りあってにじいろの未来へ笑顔で歩もう！	川崎市	2021年11月6日・7日
条約フォーラム 2022 in 那覇・沖縄	知ってる？あなたとわたしと沖縄の「今」	那覇市	2022年12月10日・11日

資料名	テーマ	開催場所	開催年月日
条約フォーラム 2023 in とよた	知って♪感じて♪こどものけんり～「しってる」から「OO」へ～	豊田市	2023年11月25日・26日


### ■NCRC ニュースレター 創刊～160号記録集

資料名	収録号	テーマ
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅰ	創刊準備1～3号、創刊号～13号	子どもの権利条約日本批准までの足跡
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅱ	14～29号	子どもの権利条約の批准で何が変わったか
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅲ	30～49号	キレル子どもたち - 相次ぐ殺傷事件
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅳ	50～69号	ゼロ・トレランス - 子どもだからといって容赦しない
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅴ	70～89号	地方自治で進む子どもの権利保障 - 子どもの権利条例など
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅵ	90～109号	東日本大震災等の危難と子どもの権利
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅶ	110～129号	震災復興のまちづくりと子ども参加
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅷ	130～150号	子どもの危うさは日本の危うさ - こども基本法の誕生
子どもの権利条約と子ども参加の動態資料Ⅸ	151～157号	子どもの権利条約の夜明け - 子どもの意見表明権を軸として

### ■その他、国内外の子どもNPOの活動

著書名	編著者名	発行所	発行年
ボランティア・コミックス 地球人になろう	日本青年奉仕協会(JYVA)	日本青年奉仕協会	1995.3.
子どもがつくるまち ミニちいかわ 2016 報告書	NPO 法人市川子ども文化ステーション		2016.
CAPへの招待 - すべての子どもに「安心・自身・自由」の権利を	CAPセンター・JAPAN	解放出版社	2004.3.
児童期・思春期のSST - 学校現場のコラボレーション-	斎藤富由起[監修・編集]	三恵社	2011.4.

	守谷賢二・社浦竜太・合田淳郎・山内早苗・吉森丹衣子・飯島博之・吉田梨乃		
市民活動のはじめの一步 一人ひとりが子どもの権利の支え手として	子どもの権利条約ネットワーク	エイデル研究所	2022.3.
よみがえる子どもの輝く笑顔	天野 秀昭	すばる舎	2011.3.
NPO の教育力 生涯学習と市民的公共性	佐藤 一子	東京大学出版	2004.6
NPO 研究 2001	日本 NPO 学会編集委員会	日本評論社	2001.3.
権利条約の批准で何が変わったのか -ニュースレター14号(94・6)~29号(96・12)まで-	子どもの権利条約ネットワーク	子どもの権利条約ネットワーク	1997.2.
【子どもの権利条約ネットワーク設立20周年記念 1991~2011】NCRC 活動から見た子どもの権利の20年 -なにが変わったのか-	子どもの権利条約ネットワーク	子どもの権利条約ネットワーク	2012.11.
子どもがつくるまちミニさくら 報告集	NPO 佐倉子どもステーション情報出版部	NPO 佐倉子どもステーション	2002.8.
できるぞ! NPO 活動 ストリートチルドレンを見つめる 子どもの権利と児童労働	石原尚子(著)・こどもくらぶ(編)	ほるぷ出版	2004.10.

ファイル「CAP05」

資料名	発行者	発行年
子どもの安全力を高める おとなのための CAP 子どもの安全力を高めるために おとなができる10ステップ	特定非営利活動法人くまもと子どもの人権テーブル	2006.3.
NPO 法人 CAP ユニット通信 ゆにっとねっと 第6号	NPO 法人 CAP ユニット	2007.2.
NPO 法人 CAP ユニット通信 ゆにっとねっと 第7号	NPO 法人 CAP ユニット	2007.7.
日本の CAP ~子どもへの暴力防止プログラム/CAP のすべて~	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN	2000.11.
CAP NEWS No.8	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN	2005. 4.
CAP NEWS No.9	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN	2005.9.
CAP NEWS No.10	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN	2006.8.
CAP NEWS No.11 抜き刷り	特定非営利活動法人 CAP センター・JAPAN	2007.3.

## A-7 子ども研究基礎資料(白書)

### ■日本子どもを守る会編『子ども白書』1960年版～2025年版

タイトル	テーマ・特集	発行年
子ども白書 1964年度版	国づくり・人づくり政策と子どものしあわせ	1964.
子ども白書 1969年版	安保体制と子どもの実体／子どもの生活意識／子どもを守る運動の課題と展望	1969.8.
子ども白書 1970年版	日本の社会と子ども・その25年／子どもは人間らしく生きてきたか／子どもの生活25年	1970.8.
子ども白書 1971年版	児童憲章完全実現への道	1971.9.
子ども白書 1972年版	児童憲章完全実現への道	1972.9.
子ども白書 1973年版	児童憲章完全実現への道	1973.9.
子ども白書 1974年版	児童憲章完全実現への道	1974.8.
子ども白書 1975年版	児童憲章完全実現への道	1975.7.
子ども白書 1976年版	児童憲章完全実現への道	1976.7.
子ども白書 1977年版	児童憲章完全実現への道	1977.7.
子ども白書 1978年版	国際児童年と子どもの人権	1978.7.
子ども白書 1979年版	国際児童年と子どもの人権保障への道	1979.7.
子ども白書 1980年版	日本の子ども1980年	1980.7.
子ども白書 1981年版	児童憲章実現の道	1981.7.
子ども白書 1982年版	臨調路線と子どもの人権	1982.7.
子ども白書 1983年版	核時代の平和と子ども	1983.7.
子ども白書 1984年版	核時代の平和・軍縮と子ども	1984.7.
子ども白書 1985年版	核兵器廃絶と子どもの人権	1985.7.
子ども白書 1986年版	児童憲章制定35周年と子どもの人権	1986.7.
子ども白書 1987年版	日本国憲法・教育基本法・児童福祉法 制定施行40周年と子どもの人権	1987.8.
子ども白書 1988年版	「世界人権宣言」40周年と子どもの人権	1988.8.
子ども白書 1989年版	「子どもの人権宣言」30周年と子どもの人権	1989.8.
子ども白書 1990年版	「子どもの権利条約」批准運動と子どもの人権	1990.7.
子ども白書 1991年版	「子どもの権利条約」批准と子どもの最善の利益	1991.8.

子ども白書 1992 年版	地域社会と子どもの権利	1992.8.
子ども白書 1993 年版	子ども参加と子どもの権利条約	1993.8.
子ども白書 1994 年版	家族と子どもの権利	1994.8.
子ども白書 1995 年版	いじめ社会を読み解く 子どもにとって戦後50年は何だったのか	1995.7.
子ども白書 1996 年版	「自分づくり」の危機 - 奪われる子ども期 -	1996.8.
子ども白書 1997 年版	子ども政策の現在と未来 - 子どもの自由と民主主義 -	1997.9.
子ども白書 1998 年版	「揺れる社会」と「子どもの事件」からの問いかけ	1998.7.
子ども白書 1999 年版	“性”と子どもの人権	1999.8.
子ども白書 2000 年版	子どもの権利実現と市民的共同	1999.7.
子ども白書 2001 年版	子ども市民と創る21世紀	2001.7.
子ども白書 2002 年版	人間回復のための“つながり・ぬくもり”	2002.7.
子ども白書 2003	新たな公共性と子どもの自己決定	2003.7.
子ども白書 2004	「安心・安全」と希望のゆくえ	2004.8.
子ども白書 2005	子どもを大切にする国・しない国 - 戦後60年・日本の子どもたちの今 -	2005.8.
子ども白書 2006	子どもを大切にする国・しない国 Part.2 - 人口減少時代の未来をひらく想像力	2006.8.
子ども白書 2007	子どもの希望を育むアイデアの結晶 - “美しい国”の悲慘の中で	2007.7.
子ども白書 2008	子どもの希望を育むアイデアの結晶 Part.2 - “いのちの格差”がひろがる中で	2008.7.
子ども白書 2009	子ども破壊か、子どものしあわせ平等か 子どもの権利条約採択20周年・批准15周年のいま	2009.8.
子ども白書 2010	「子ども政策」づくりへの総合的提案	2010.8.
子ども白書 2011	特集1 東日本大震災から未来へ - 子どもが指し示す希望とともに 特集2 “無縁社会”を克服するために	2011.9.
子ども白書 2012	特集 東日本大震災後を生きる子どもたち	2012.8.
子ども白書 2013	いのちの輝きを守るために いじめ・体罰・自殺につながる暴力性を克服する	2013.8.
子ども白書 2014	《創刊50巻・記念号》発信する子ども・若者たち - 出会で子どもが変わる -	2014.8.
子ども白書 2015	特集 戦後70年 寛容さを失う社会 - 子どもを信頼できますか？	2015.8.
子ども白書 2016	特集 18歳「成人」社会 ～「成人」とは何か～	2016.8.
子ども白書 2017	特集 改憲は子どもに何をもたらすか ～児童憲章の再発見～	2017.8.
子ども白書 2018	特集 型にはめたい大人たち ～「人づくり革命」「働き方改革」に未来はあるか～	2018.8.

子ども白書 2019	特集 子どもは「生きて」いるか 子どもの権利条約30年のいま	2019.8.
子ども白書 2020	緊急企画 コロナ 子どもクライシス 特集 希望の学校 学びのゆくえ	2020.8.
子ども白書 2021	特集 コロナ禍から未来へ	2021.8.
子ども白書 2022	特集 オンラインで変わる子ども世界 コロナ禍からの問いかけ	2022.7.
子ども白書 2024	特集 気候危機は、子どもの権利の危機	2024.8.

#### ■地域子ども白書

タイトル	発行者	発行年
横浜子ども白書 1975年版	横浜子どもを守る会	1975.8.
神戸の子ども 退廃と混迷の中から、この子らに明日を！	神戸子どもを守る会	1977.6.
大田子ども白書 1979年版	大田子どもの教育連絡会	1979.4.
横浜子ども白書 第3号・1979年版	横浜子どもを守る会	1980.3
よみがえれ家庭・学校・地域 -松戸子ども白書	松戸の子ども白書をつくる会	1988.11.
データにみるみやぎの子ども -みやぎ子ども白書-	子どもの人権を守る宮城県連絡会	1988.12.
市民の手づくり八王子白書 -わが街を見る・聞く・語る-	『市民がつくる八王子市政白書』刊行委員会	1991.12.
輝け 大田の子どもたち	大田子ども・教育白書づくり実行委員会	1992.10.
子どもの願いかがやく街に 品川子ども白書	品川子ども白書をつくる会	1993.5.
さっぽろっ子 -札幌子ども白書-	札幌子ども白書をつくる会	1997.10.
たからづか子ども白書 宝塚市子どもの意識調査を中心に～	第4期女性ボード教育 OG 会	1998.2.
福岡県「子どもの会議」版 子どもの人権宣言	福岡県「子ども会議」	2000.9.
知ってる？！子どもの気持ち・おとなの気持ち ～国立市子ども白書～	国立市	2002.2.
神奈川の高校 教育白書 2001	財神奈川県高等学校教育会館	2001.10.
神奈川の高校 教育白書 2002	財神奈川県高等学校教育会館	2002.10.
豊島区子ども白書	豊島区	2003.11.
子どもオンブズ・レポート 2007 川西市子どもの人権オンブズパーソン条例の2007年次運動に関する報告	川西市子どもの人権オンブズパーソン	2008.3.

みえの子ども白書 2012	三重県	2012.3.
ふくおか子ども白書 2014	特定非営利活動法人 子ども NPO センター福岡	2014.11.
さっぽろ子ども・若者白書 2016	「さっぽろ子ども・若者白書」をつくる会	2016.4.
2016 長野の子ども白書 地域の中から、子ども・若者の今を考える	長野の子ども白書編集委員会	2016.5.
2017 長野の子ども白書 地域の中から、子ども・若者の今を考える	長野の子ども白書編集委員会	2017.5.
沖縄子どもの貧困白書	沖縄子ども総合研究所	2017.10.
川崎市人権オンブズパーソン 平成30年度報告書	川崎市人権オンブズパーソン	2019.5.
20周年記念誌&子どもオンブズ・レポート 2018	川西市子どもの人権オンブズパーソン	2019.3.
復帰50年 沖縄子ども白書 2022	上間陽子・川武啓介・北上田源・島村聡・二宮千賀子・山野良一・横江崇	2022.8.

■その他の白書

タイトル	編著者・発行所		発行年
保育白書「幼保一元化」問題	全国保育団体合同研究会実行委	草土文化	1978.8
保育白書 国際児童年特集 今日の子どもの状態	全国保育団体連絡会	草土文化	1979.8
子どもの安全白書 危険がいっぱい……子どもは守られているか	伊藤進・金田茂郎	総合労働研究所	1980.10
1989 保育白書 特集 新幼稚園教育要領をどうとらえるか 他	全国保育団体連絡会	草土文化	1989.8
ボランティア白書1992版 社会奉仕から社会創造へ	「ボランティア白書」編集委員会	日本青年奉仕協会	1992.9
平成4年版 青少年白書 青少年問題の現状と対策	総務庁青少年対策本部	大蔵省印刷局	1993.1
ハイライト 子ども家庭白書 子どもと親のウェルビーイングの促進めざして	高橋重宏・網野武博・柏女霊峰	川島書店	1996.5
子どもの権利 ネットワーキング '97	カイロス 代表 内田淳子	クレヨンハウス	1996.11
フリースクール白書 日本のフリースクール現状と未来への提言	フリースクール全国ネットワーク		2004.3
若者ホームレス白書 当事者の証言から見えてきた問題と解決のための支援方策	ビッグイシュー基金		2010.12
平成22年版 子ども・若者白書	内閣府		2010.7
平成23年版 子ども・若者白書	内閣府		2011.7
子どもNPO白書 2015	日本子どもNPOセンター	エイデル研究所	2015.9
2016 長野の子ども白書 地域の中から、子ども・若者の今を考える	長野の子ども白書編集委員会		2016.5
外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から	山野良一・荒牧重人他	明石書店	2017.4
2017 長野の子ども白書 地域の中から、子ども・若者の今を考える	長野の子ども白書編集委員会		2017.5

子どものからだと心 白書 2017	子どものからだと心・連絡会議	2017.12
子どもNPO白書 2018	日本子どもNPOセンター エイデル研究所	2018.9
平成 23 年版 子ども・若者白書	内閣府	1991.7
平成 29 年版 子供・若者白書	内閣府	2017.7
平成 30 年版 子供・若者白書	内閣府	2018.7

■世界子供白書

\* 日本ユニセフ協会=日本語版、Unicef=英語版、Bureaux de l'UNICEF=フランス語版

タイトル	編著者・発行所	発行年
世界子供白書 1984	ユニセフ 世界の動き社	1984.7
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1980 世界の子供の現状	日本ユニセフ協会	1980.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1981-2 母子優先政策へ	日本ユニセフ協会	1981.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1982-3	Unicef	1982.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1982-3 子供の革命	日本ユニセフ協会	1982.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1984	Unicef	1983.12
LA SITUATION DES ENFANTS DANS LE MONDE1984	Bureaux de l'UNICEF	1983.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1984 子供の革命	日本ユニセフ協会	1983.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1985	Unicef	1984.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1985	日本ユニセフ協会	1984.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1986 1946-1986 ユニセフ 40 周年記念	日本ユニセフ協会	1985.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1988	Unicef	1987.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1988 子供のための大同盟	日本ユニセフ協会	1987.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1989	Unicef	1988.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1989 成果が脅かされた 10 年	日本ユニセフ協会	1988.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1990	Unicef	1989.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1990 子供最優先の原則	日本ユニセフ協会	1989.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1991	Unicef	1990.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1991 子供への約束を守る	日本ユニセフ協会	1990.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1992	Unicef	1991.12

THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1992	新しい秩序のための課題	日本ユニセフ協会	1991.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1993		Unicef	1992.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1993	大義・基本的ニーズのための運動	日本ユニセフ協会	1992.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1994		Unicef	1993.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1994	PPE問題	日本ユニセフ協会	1993.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1995		Unicef	1994.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1995	「子どものための世界サミット」その後	日本ユニセフ協会	1994.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1996	50th Anniversary Issue	Unicef	1995.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1996	50周年記念号	日本ユニセフ協会	1995.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1997	Focus on child labour	Unicef	1996.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1997	児童労働	日本ユニセフ協会	1996.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1998	Focus on Nutrition	Unicef	1997.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1998	栄養特集	日本ユニセフ協会	1997.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN1999	Education	Unicef	1998.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN 2000	21世紀に向けたビジョン	日本ユニセフ協会	1999.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN 2001	幼い子どものケア	日本ユニセフ協会	2001.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2002	LEADERSHIP	Unicef	2001.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2002	リーダーシップ	日本ユニセフ協会	2002.6
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2003	子どもたちの写真と絵とともに	日本ユニセフ協会	2003.4
LA SITUATION DES ENFANTS DANS LE MONDE2003		Bureaux de l' UNICEF	2004.
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2004	Girls, education and development	Unicef	2003.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2004	女子・教育・開発	日本ユニセフ協会	2004.3
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2005	危機に晒される子どもたち	日本ユニセフ協会	2005.4
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2006	EXCLUDED AND INVISIBLE	Unicef	2005.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2006	存在しない子どもたち	日本ユニセフ協会	2006.3
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2008	Child Survival	Unicef	2007.12
THE STATE OF THE WORLD 'S CHILDREN2008	子どもの生存	日本ユニセフ協会	2008.11

## B 子どもの権利・条約研究 各説（課題別・分野別等）

### B-1 子どもの権利の学習、人権教育、普及・啓発

#### ■ 権利学習・人権教育と子どもの権利

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	子どもの人権と管理教育 いじめ・体罰、校則の実態と法的問題点	尾山宏・高野範城・	あけび書房	1986.3
	人権のための教育 授業にすぐ使える活動事例	ラルフ・ベットマン	明石書房	1987.4
	ヒューマン・ライト いま世界の人権は	ディビット・セルビー	日本評論社	1988.5
	人権教育論	河内徳子	大月書店	1990.8
	子どもの人権読本	子どもの人権連 永井憲一・小川利夫	エイデル研究所	1990.9
	わたしの権利みんなの権利 It's Only Right	スーザン・ファウンテン	日本ユニセフ協会	
	実践 人権教育の方法—フランスのテキストから—	リシャール・フォルタ ロラン・ランタンフ	明石書房	1993.11
	子どもたちは平和をつくれるか	斎藤文男/柳淑子	現代書館	1994.9
	子どもの権利教育マニュアル	D.セルビー+G.パイク	日本評論社	1995.4
	「ノー」をいえる子どもにCAP/子どもが暴力から自分をまもるための教育プログラム	サリー・J・クーパー	童話館出版	1995.11
	いま人権教育が変わる 国連人権教育10年の可能性	森 実	部落解放研究所	1995.12
	「人権教育のための国連10年」わたしたちの課題	部落解放同盟・全同教・日教組 推進連絡会議		1997.3
	「人権教育」って何だ 国連人権教育10年行動計画	八木英二	部落問題研究所	1997.9
	人権教育をつくる 小学校[教え]から[学び]への授業づくり	喜多明人・河内徳子・岩川直樹・今泉博	大月書店	1997.10
	世界の人権教育 理論と実践	ジョージ・J・アンドレオボロズ他	明石書店	1999.2
	いま人権教育を問う	八木英二・梅田修	大月書店	1999.5
	幼児期からの人権教育 参加体験型の学習活動事例集	ラルフ・ベットマン	明石書店	2002.2
	人権教育の実践を問う	八木英二・梅田修	大月書店	2002.5
	早わかり 人権教育小辞典	中野睦夫	明治図書	2003.12
	イラスト版子どもの権利 子どもとマスターする50の権利学習	喜多明人・浜田進士・山本克彦・安部芳絵	合同出版	2006.2
	21世紀の社会と教育	広田照幸	アドバンテージサーバー	2008.6

## B-2 子どもの意見表明・参加

### ■ 子ども・若者の参加の理論と歴史

著書名	編著者名	発行所	発行年
現代青年の社会参加 現代青年心理学講座6	依田新・大西誠一郎・斎藤耕二・津留宏他	金子書房	1972.11
教育をめぐる「参加」(協力関係)の研究第2集	日本教育学会 教育参加研究委員会		1983.8
生涯学習のまちづくりシリーズ⑤ 青少年の地域参加	岡本包治	ぎょうせい	1989.9
主権者はきみだ 憲法のわかる50話 岩波ジュニア新書187	森 英樹	岩波書店	1991.4
ベンボスタ・子ども共和国	恒松龍兵	朝日新聞社	1991.4
日本の若者・アメリカの若者 高校生の意識と行動	千石保・ロイズ・デビッツ	日本放送出版協会	1992.3
子ども白書 1993 子ども参加と子どもの権利条約	日本子どもを守る会	草土文化	1993.8
時代批判としての若者	池谷壽夫・小池直人	同時代社	1994.11
ねえ きいて！ほんとのきもち—2500人の子どもの声とおとなのへんじ—	子どもと教育・文化を守る千葉県民の会	自治体研究社	1995.8
ぼくのわたしの意見表明 7689人から親・学校・社会へ	子どもの権利条約をすすめる会	こうち書房	1996.9
子どもの参加の権利<市民としての子ども>と権利条約	喜多明人・坪井由美・林量俣・増山均	三省堂	1996.10
新版 主権者はきみだ 憲法のわかる50話 岩波ジュニア新書285	森 英樹	岩波書店	1997.3
子どもは大人のパートナー	坪井節子	明石書店	1998.7
子どもの参画	ロジャー・ハート	萌文社	2000.10
子どもの権利と参加～人権教育を具体化するために～	ヒューライツ大阪	解放出版社	2001.3
総合的な学習 こう展開する 共生と社会参加の教育	早稲田大学公民教育研究会	清水書院	2001.3
季刊子どもの権利条約NO.15 子ども参加の権利	季刊子どもの権利条約編集委員	エイデル研究所	2002.2
子ども・若者の参画—R・ハートの問題提起にこたえて	子どもの参画情報センター	萌文社	2002.11
現代学校改革と子どもの参加の権利	喜多明人	学文社	2004.3
主権者を育てる模擬投票 新しいシティズンシップ教育をめざして	杉浦真理	きょういくネット	2008.1
18歳が政治を変える！ユースデモクラシー・&ポリティカル・リテラシーの模索	高橋亮平・小林庸平・菅源太郎	現代人文社	2008.10
岩波新書 子どもの声を社会へ—子どもオンブズの挑戦	桜井千恵子	岩波書店	2012.2
復興再生子どもの参画—子どもにやさしいまちづくり—	子どもの環境学会	萌文社	2012.4

コメントの追加 [陽喜1]:

子ども参加調査に関する意識調査2012	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン		2012.10
「18歳選挙権」で社会はどう変わるか	林大介	集英社	2016.6
学びに「成功する子供」教えに「失敗する子供」	渡辺克彦	ポプラ社	2017.10
主権者はつくられる	池田賢市・桜井智恵子・教育文化総合研究所	アドバンテージサーバー	2018.7
大学の自由の歴史 埼選書26	家永三郎	埼書房	1962.12
ポポロ事件 ●黒い手帳は語る	遠山茂樹・渡辺洋三	新興出版社	1964.6
大学の自治の歴史	伊ヶ崎暁生	新日本出版社	1965.10
東大紛争の記録	東大紛争文書研究会	日本評論社	1969.1
教育系学生の思想と行動 明治図書新書41	伊ヶ崎暁生・山崎真秀・土屋基規	明治図書出版	1969.2
大学の自治3 学生の自治 明治図書新書50	福島要一	明治図書出版	1970.2

#### ■ 子ども・生徒参加の実践と学校

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	高校紛争の記録	中沢道明	学生社	1971.3
	高校紛争 STYUDENT POWAER	柿沼昌芳・永野恒雄・田久保清志	批評社	1996.7
	鉄筆とピラ	都立立川高校の「紛争」の記録を残す会	同時代社	2020.3
	<b>中学生 岩波新書487</b>	<b>佐山喜作</b>	<b>岩波書店</b>	<b>1963.5</b>
	親と教師への子どもの抗議	鈴木道太	国土社	1964.9
	高校生 ○その素顔と発言 銀河選書	サンケイ新聞社会部	大和書房	1970.5
	先生と生徒の人間関係 先生と親に自信を与える本	ハイム・ギノット博士	サイマル出版会	1976
	中学生 その日々 岩波新書17	望月一宏	岩波書店	1977.7
	中学生とともに 岩波新書299	佐山喜作・君和田和一	岩波書店	1981.12
	生徒心得 生徒憲章への提言	坂本秀夫	エイデル研究所	1984.11
	中学校は、いま 岩波新書384	望月一宏	岩波書店	1987.8
	中学生 現場からの報告	読売新聞社文化部	学陽書房	1988.12
	生徒人権手帳 「生徒手帳」はもういない	平野裕二・苫米地真理・藤井誠二	三一書房	1990.2
	ハイスクール「不良品」宣言 反管理教育中高生ネットワーク・DPクラブの顛末	外山恒一	駒草出版	1990.6

中学生・高校生の発達と教育 1 若者たちの現在	堀尾輝久	岩波書店	1990.10
中学生・高校生の発達と教育 2 からだと心の青年期	堀尾輝久	岩波書店	1990.10
中学生・高校生の発達と教育 3 現在学校をつくり変える	堀尾輝久	岩波書店	1990.10
生徒の力を育てる学校づくり－舞台裏の指導－	尾木直樹	日本書籍	1990.11
THE RIGHTS OF STUDENTS	アメリカ自由人権協会	教育資料出版会	1990.11
法律をつくった高校生	樋渡直哉	国土社	1993.9
生徒会の話 生徒会参加の知識と方法	坂本秀夫	三一書房	1994.4
高校生の名言	東京都立一橋高教諭 永野恒雄	遊戯社	1995.1
高校生活指導 126 生徒会の連合/不登校	全国高校生活指導	青木書店	1995.10
福岡・長尾小「子どもたちのゲルニカ」処分撤回訴訟 資料集3	子どもたちのゲルニカを考える福岡市民の会		1995.11
福岡・長尾小「子どもたちのゲルニカ」処分撤回訴訟 資料集5	子どもたちのゲルニカを考える福岡市民の会		1995.12
子どもたちのサミット 座談会学校の主人公はぼくたち・私たちだ	地域民主教育全国交流研究会	桐書房	1996.7
中学生マジに近現代史	増田都子	ふきのとう書房	1997.8
子ども国会報告書	参議院事務局	参友会	1997.11
学校の自治を豊かに 所沢高校の事例を通して	子どもの人権と体罰研究会	母と子社	1998.7
学校はだれのもの!? 兵庫・尼崎東・京都・桂・埼玉。所沢高校ドキュメント	作画/広中健次 取材/金子さとみ	高文研	1999.3
所沢高校の730日	所沢高校卒業生有志 淡路智典他	創出版	1999.8
子どもの社会力 岩波新書613	門脇厚司	岩波書店	1999.11
2000年子ども国会報告書	2000年子ども国会実行委員会	参議院事務局	2000.10
学校を変える生徒たち 三者協議会が根づく長野県辰野高校	宮下与兵衛	かがわ出版	2004.1
地域を変える高校生たち 市民とのフォーラムからボランティア、まちづくりへ	宮下与兵衛	かがわ出版	2014.5
子どもの放課後にかかわる人のQ&A50	プレーワーク研究会	学文社	2017.3
高校生の法的地位と政治活動 日本とドイツ	結城 忠	エイデル研究所	2017.3
あなたが学校でしあわせに生きるために 子どもの権利と法律手帳	弁護士 平尾潔	子どもの未来社	2024.11

#### ■子ども・生徒の意見表明・参加の支援

ファシリテーション革命 参加型の場づくりの技法 岩波アクティブ新書 69	中野民夫	岩波書店	2003.4
子ども参加を促すガイド	教育協力 NGO ネットワーク	JNNE	2009.3

子どもアドボカシー実践講座	堀正嗣/子ども情報研究センター	解放出版社	2013.4
大学生が本気で考える子どもの放課後－弘前大学生の地域参加とPレワーク実践－	深作拓郎・岸本麻衣	学文社	2018.3
子どもアドボカシー養成講座 子どもの声を聴き権利を守るために	堀正嗣	明石書店	2020.10
子どもアドボカシーの基本原理 子ども主導の意見形成・表明・実現のために	堀正嗣	明石書店	2024.3
子どもアドボカシーQ&A 30の問いからわかる実践ガイド	栄留里美	明石書店	2024.8

### B-3 ありのままの自分でいる権利と子どもの居場所

#### ■アイデンティティと子ども・若者支援

著書名	編著者名	発行所	発行年
アイデンティティ研究の展望Ⅰ	鑪幹八郎・山本力・宮下一博	ナカニシヤ出版	1984.11.
アイデンティティ研究の展望Ⅱ	鑪幹八郎・宮下一博・岡本祐子	ナカニシヤ出版	1995.3.
アイデンティティ研究の展望Ⅲ	鑪幹八郎・宮下一博・岡本祐子	ナカニシヤ出版	1995.11.
アイデンティティ研究の展望Ⅳ	鑪幹八郎・宮下一博・岡本祐子	ナカニシヤ出版	1997.7.
岩波講座 精神の科学5 食・性・精神	下坂幸三・野上芳美・藤本淳三・大平健・斎藤久美子・小田晋・村本詔司・福島章・武田建	岩波書店	1983.6.
岩波講座 精神の科学6 ライフサイクル	河合隼雄・島田昭三・東山紘久・藤田早苗・村瀬孝雄・細木照敏・小此木啓吾・大橋一恵・鑪幹八郎・樋口和彦	岩波書店	1983.10.
岩波講座 精神の科学7 家族	笠原嘉・小出浩之・中井久夫・馬場謙一・中野良平・稲村博・清水将之・空井健三・佐々木譲・小倉清・廣瀬恭子	岩波書店	1983.9.
岩波講座 精神の科学10 有限と超越	宮本忠雄・小此木啓吾・成瀬悟策・樋口和彦・加藤清・西園昌久・吉松和哉・佐々木時雄・小西輝夫	岩波書店	1983.7.
セルフエスティームの心理学 自己価値の探究	遠藤辰雄・井上祥治・蘭千壽	ナカニシヤ出版	1992.6.
可能性のある子どもたちの医学と心理学 子どもが発達が気になる親と保育士・教師のために	井上道子・辻井正次・杉山登志郎	ブレイン出版	2002.2.

<子供>の誕生 アンシャン・レジーム期の子供と家庭生活	フィリップ・アリエス	みすず書房	1980.12.
禁じられた知 精神分析と子どもの真実	アリス・ミラー	新曜社	1985.7.
魂の殺人 親は子どもに何をしたか	A.ミラー	新曜社	1983.7.
「子ども」の絵	アリス・ミラー	現代企画室	1992.4.
現代アドラー心理学 上	G.J.マナスター・R.J.コルシーニ	春秋社	1995.2.
現代アドラー心理学 下	G.J.マナスター・R.J.コルシーニ	春秋社	1995.3.
自分づくりの心理学 -子どもたちに希望と体験と共生の場を	渡辺弘純	ひとなる書房	2000.4.
岩波ブックレット No.340 子どもの予防接種 -何を、どう受ける？-	毛利子来	岩波書店	1994.3
私事と自己決定	山下卓生	日本評論社	1987.9.
自己肯定感と子ども支援(卒業記念論文集)	三浦修平		2010.3.
子どもと生きる	河合隼雄	創元社	1985.4.
子ども文化ネットワーク	淵上継雄	弦書房	2015.1.
新しい子ども観 子どもとおとなにやすらぎと意欲とプライドをもたらすもの	村田光男	子ども劇場全国権利条約部局	1998.7.
こども	佐野洋子	リブレポート	1984.6.
子ども支援の教育社会学	南本長穂・伴恒信	北大路書房	2002.9.
追いつめられた子どもたち	クリスチアーヌ・ロシュフォール	人文書院	1978.11.
大人と子供の関係史序説 教育学と歴史的方法	宮澤康人	柏書房	1998.06.
社会史のなかの子ども アリエス以後の〈家族と学校の近代〉	宮澤康人・森田伸子・森田尚人・島光美緒子・北村三子	新曜社	1988.2.
東京大学公開講座 30 子ども	向坊隆	東京大学出版会	1979.11.
岩波講座 子どもの発達と教育1 子どもの発達と現代社会	五十嵐頭・今津孝次郎・大田堯・木下竜太郎・坂本市郎・坂元忠芳・作田啓一・浜口恵俊・広木克行・深山正光・堀尾輝久・松崎巖・山住正巳	岩波書店	1979.6.

子どもはもういない	ニール・ポストマン	新樹社	2001.12
エリクソンは語る -アイデンティティの心理学-	R.I.エヴァンズ	新曜社	1981.4.

#### ■地域と子どもの居場所

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どものための居場所論 異なることが豊かさになる	阿比留久美	かがわ出版	2022.5.
居場所なき時代を生きる子どもたち	三沢直子・宮台真司・保坂展人	子ども劇場全国センター出版局	1999.5.
居場所のちから 生きてるだけですごいだ	西野博之	教育史料出版会	2006.3.
子ども若者の居場所の構想「教育」から「関わりの場」へ	田中治彦	学陽書房	2001.4.
子どもたちの輝く時を求めて -ある表現教育実践 ドラマスクール&ミュージカル『子どもの時間』-	太宰久夫・山田真理子	エイデル研究所	
叢書 産業と教育の社会史 3 生活の時間・空間 学校の時間・空間	「産業と教育の社会史」編集委員会	新評論	1984.6.
「心のノート」の方へは行かない	岩川直樹・船橋一男	子どもの未来社	2004.7.
子どもと若者の居場所	久田邦明	萌文社	2000.7.
居場所とわたし -子ども・親・スタッフの声-	NPO 法人フリースペースたまりば	NPO 法人フリースペースたまりば	2011.7.
コドモの居場所	今野稔久	コモンズ	2003.8.
子どもイタズラ村づくり【遊酔亭日記・富山県八尾の山里より】改訂版	早川たかし	教育史料出版会	2007.8.
小学生編 私の居場所はどこ？ 保健室で受けとめた子どものサイン	全国養護教諭サークル協議会(企画) 五十嵐由紀(著)	農文協	2006.7.
中学生編 私の居場所はどこ？ 保健室で受けとめた子どものサイン	全国養護教諭サークル協議会(企画) 山咲さくら・澤地妙(著)	農文協	2006.7.
居場所って、どんなところ？ -公設民営の居場所「フリースペースえん」の現場から①		NPO 法人フリースペースたまりば	2010.3.
居場所って、どんなところ？		NPO 法人フリースペ	

ー公設民営の居場所「フリースペースえん」の現場から②		ースたまりば	
フリースクール ボクらの居場所はここにある！	NPO 法人フリースクール全国ネットワーク	東京シューレ出版	2009.2.

#### ■子どもの危機、医療的ケア、自分を生きる権利

著書名	編著者名	発行所	発行年
AERA SPECIAL 臨時増刊 子どもが危ない		朝日新聞社	1997.11.
別冊宝島 129 ザ・中学教師 子どもが変だ！ 子どもはもはや、あなたの知っている子どもではない！		JICC	1991.3.
子ども時代を失った子どもたち	マリー・ウィン	サイマル出版社	1984.8.
自由を子どもに	松田道雄	岩波書店	1973.12.
子どもが消える日 改訂新版	保坂展人	労働教育センター	1994.1.
自分を生きる 子どもの権利条約を読む	牧証名	新日本出版社	2000.2.
子どもの自分くずしと自分づくり	竹内常一	東京大学出版会	1987.7.
精神科医の子育て論	服部祥子	新潮社	1991.7.
子どもの人権双書4 医療と子どもの人権	吉峯康博	明石書店	1998.8.
見逃さないで！ 子どもの心のSOS 思春期にがんばってる子	明橋大二	1万年堂出版	2013.6.
チャイルドラインで学んだ 子どもの気持ちを聴くスキル	山口祐二	ミネルヴァ書房	2014.2.
子ども白書 1996 年版 「自分づくり」の危機－奪われる子ども期－	日本子どもを守る会	草土文化	1996.8.

#### ■遊ぶ権利・プレーパーク

著書名	編著者名	発行所	発行年
子育てハッピーアドバイス	明橋大二	1万年堂出版	2005.12.
子どもの権利条約 31 条ブックレット No.0 ゆっくりしたい！あそびたい！！遊びと文化と自由な時間	増山均・齋藤史雄	企画・制作 Art.31	2018.10.
遊びの力 遊びの環境づくり 30 年の歩みとこれから	大村璋子・大西宏治・齋藤啓子・首藤万千子・	萌文社	2009.6.

	関戸まゆみ		
危ない箱ブランコは片づけて	箱ブランコ裁判を考える会	現代書館	2004.3.
安全な遊び場と遊具	ゲオルグ・アグデ、アルフレッド・ナーゲル、ユリアン・リヒター	鹿島出版会	1991.10
子ども文化の復権	金田茂郎	大月書店	1987.10.
子どもの冒険と安全	ボランティア問題研究会	YMCA 出版	1986.2.
遊具の安全に関する基準(案) JPFA:2002	日本公園施設業協会	日本公園施設業協会	2002.10.
社団法人日本公園施設業協会 協会報 No.33 特集 遊具の安全に関する基準(案) JPFA:2002	日本公園施設業協会	日本公園施設業協会	2002.10.
叢書 児童文化の歴史Ⅲ 児童文化と子ども文化	加藤理・鶴野祐介・遠藤純	港の人	2012.9.
アニメーションと日本の子育て・教育・文化	増山均	本の泉社	2018.2.
「遊び」の探究 大人は子どもの遊びにどうかかわりうるか	小川博久	生活ジャーナル	2001.5.
冒険遊び場がやってきた！ 羽根木プレーパークの記録	羽根木プレーパークの会	晶文社	1987.4.
<砂場>と子ども	笠間浩幸	東洋館出版社	2001.10.
エコロジー 建築・都市 003 遊びと街のエコロジー	木下勇	丸善株式会社	1996.9.
負けるな子どもたち！ スーパーガキ大将ここにあり	渡辺容子	径書房	1989.10.
遊びと労働の教育	須藤敏昭	青木書店	1978.8.

## B-4 安心して生きる権利

### ■いじめ

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	いじめによる子どもの自死をなくしたい	近藤庄一・安達昇	学文社	2014.6.
	「葬式ごっこ」八年後の証言	豊田充	風雅書房	1994.10.
	いじめられっ子も親のせい!? いじめのシグナルに気づくのは親の責任	田中喜美子	主婦の友社	1996.5.
	いじめを跳ね返した子どもたち②	野口良子	明石書店	1995.6.
	いじめ自殺 6つの事件と子ども・学校のいま	教育科学研究会・村山士郎・久富義之	国土社	1999.8.

〈子どもにも言わせろ!!ホットライン〉ブックレット⑥ これでいじめはなくせるの!?	世田谷ボランティア協会・子どもにも言わせろ!ホットライン実行委員会	ジャパンマシニスト社	1995.8.
いじめられている君へ いま言えること、伝えたいこと	鎌田慧・保坂展人	徳間書店	1995.9.
いじめの連鎖を断つ -あなたでもできる「いじめ防止プログラム」	砂川真澄・廣岡逸樹・廣岡綾子・稲垣由子・竹川郁雄	富山房インターナショナル	2008.11.
かがわブックレット No.87 いじめと登校拒否	高垣忠一郎	かがわ出版	1996.1.
岩波ブックレット No.191 いじめ・体罰と父母の教育権	今橋盛勝	岩波書店	1991.3.
いじめ・自殺・遺書「ぼくたちは、生きてかった!」	子どものしあわせ編集部	草土文化	1995.2.
隠蔽 -父母の(いじめ)情報公開戦記	奥野修司	文藝春秋	1997.11.
いじめの現場 子どもたちの叫び声	朝日学生新聞社	朝日ソノラマ	2002.5.
いじめの記憶 -もう誰もいじめないで	岩脇克己・岩脇壽恵・いじめの記憶編集委員会	桂書房	2008.12.
子ども白書 1995 年版 いじめ社会を読み解く 子どもにとって戦後 50 年は何だったのか	日本子どもを守る会議	草土文化	1995.7.
子どもの命は、母親が守る もし、子どもがいじめに遭っていることを知ってしまったら...	プレスプラン	プレスプラン	2005.5.
<いじめ>考	別役実・芹沢俊介・山崎哲	春秋社	1995.5.
友だち地獄 -「空気を読む」世代のサバイバル	土井隆義	筑摩書房	2008.3.
いじめ問題ハンドブック 学校に子どもの人権を	日本弁護士連合会	こうち書房	1995.6.
いじめに立ち向かう -キッズスケープ・トレーニング・ガイドブック	ミッシェル・エリオット、ジェーン・キルパトリック	アドバンテージサーバ―	1997.9.
いじめ防止対策推進法の重大事態の研究	永田憲史	関西大学出版部	2024.9.
逐条解説「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」	永田憲史	関西大学出版部	2023.12.
ほんとはネ いじめっ子じゃないよ ふるさとを中国に持つ少年の記録	善元幸夫	ポプラ社	1984.2.
子どものいじめ問題ハンドブック 発見・対応から予防まで	日本弁護士連合会子どもの権利委員会	明石書店	2015.11.
いじめ防止法対策推進法の解説と具体策 法律で何が変わり、教育現場は何をしなければならないのか	小西洋之	WAVE 出版	2014.3.

続 いじめの光景 こころの暴力と戦う！	保坂展人	集英社	1995.10.
あなたは子どもの心と命を守れますか！ いじめ白書「自殺・殺人・傷害 121人の心の叫び！」	武田さち子	WAVE 出版	2004.2.
せめてあのとき一言だけでも いじめ自殺した子どもの親は訴える	鎌田慧	草思社	1996.10.
いじめ・自殺はなぜなくなるのか 司法と教育現場の連携による問題解決へ	児玉勇二	明石書店	2022.3.
教職研修総合特集 No.76 教育と子どもの人権読本 「子どもの権利条約」の解説とその実践上の課題		教育開発研究所	1991.2.
「まち育て」を育む 対話と協働のデザイン	延藤安弘	東京大学出版会	2001.4.
いじめ撃退マニュアル	小寺やす子・野口よしみ	情報センター出版局	1994.8.
いじめにグッドバイ！	日教組教育文化政策局・子どもの人権連	労働教育センター	1996.1.
〈いじめ学〉の時代	内藤朝雄	柏書房	2007.11.
“いじめ”と反差別の教育	野口良子	明石書店	1986.8.
学校教育裁判と教育法	市川須美子	三省堂	2007.7.
裁判判決で学ぶ日本の人権	梅野正信	明石書店	2006.6.
世界のいじめ 各国の現状と取り組み	森田洋司	金子書房	1998.11.

## ■子ども虐待

著書名	編著者名	発行所	発行年
子供の虐待と放置 -小児科医の役割-	坂井聖朝二	子どもの虐待防止センター	1991.8
子どもの権利条約と児童虐待 第20回シンポジウム第4分科会	近畿弁護士連合会少年問題対策委員会		1992.3
児童の虐待について -我々は何をなすべきか-	児玉勇二・泉薫・木下淳博	子どもの虐待防止センター	1992.10
子どもの虐待防止・法的実務マニュアル	日本弁護士連合会子どもの権利委員会	明石書店	1998.6
あなたにもキャッチできる！児童虐待のSOS	徳永雅子	新企画出版	1999.8
子どもの虐待とネグレクト Vol.1	日本子どもの虐待防止研究会		1999.11
児童虐待 その現況と刑事法的介入	林 弘正	成文堂	2000.12
子ども虐待 教師のための手引き	柏女霊峰	時事通信社	2001.3

子どもへの最大の人権侵害 子供虐待	高橋重宏	有斐閣	2001.6
子どもの性的虐待と国際人権	ロジャー・J. R. レヴェスク 萩原重夫訳	明石書店	2001.9
Q&A ドメスティック・バイオレンス法 児童虐待防止法解説	山田秀雄	三省堂	2001.12
子どもを虐待から守る制度と介入方法 英国の児童虐待防止制度から	弁護士 峯本耕治	明石書店	2001.12
児童虐待防止法 わが国の法的課題と各国の対応策	岩井宜子	尚学社	2002.3
子ども虐待と援助 児童福祉施設・児童相談所のとりくみ	竹中哲夫・長谷川真人・浅倉恵一・喜多一憲	ミネルヴァ書房	2002.6
子ども虐待の福祉学 子どもの権利擁護のためのネットワーク	浅井春夫	小学館	2002.7
子ども虐待の歴史と理論	ブライアン・コービー 萩原重夫訳	明石書店	2002.10
たすけて！私は子どもを虐待したくない 世代連鎖を断ち切る支援	長谷川博一	径書房	2003.6
親族による性的虐待 近親姦の実態と病理	石川義之	ミネルヴァ書房	2004.3
子ども虐待の防止力を育てる	村本邦子・西順子・前村よう子	三学出版	2004.8
小さい人を救えない国ニッポン 児童虐待と闘った祖父江文宏の遺言	小林ゆうこ	ポプラ社	2006.5
20世紀児童福祉の展開 1970年代児童虐待防止の動向から探る	田澤あけみ	ドメス出版	2006.7
愛着臨床と子ども虐待	藤岡孝志	ミネルヴァ書房	2008.9
ルポ 虐待 一大阪二児置き去り死事件	杉山 春	筑摩書房	2013.9
スクールセクハラ なぜ教師のわいせつ犯罪は繰り返されるのか	池谷孝司	幻冬舎	2014.10

## ■災害・安全

著書名	編著者名	発行所	発行年
安全・安心なまちを子ども達へ 犯罪現場の検証と提言	中村攻	自治体研究社	2005.10.
家庭－地域－学校を結ぶ道「通学路」の話 子どもたちが安全で安心して歩ける場に	椎名文彦	文芸社	2006.11.
学級崩壊	朝日新聞社会部	朝日新聞社	1999.5.
学校で命を落とすということ 子どもたちが安心して過ごせる学校となるために	安達和美	あっぷる出版社	2022.10.
〈提言〉学校安全法－子どもと学校を守る安全指針－	喜多明人・橋本恭宏	不磨書房	2005.5.
学校安全への提言 子どもの健康と安全を保障するために	永井憲一	東研出版	1981.4

わが子に言葉なく - ある学校事故の記録 -	三浦孝啓	総合労働研究所	1978.9.
学校災害ハンドブック	喜多明人	草土文化	1996.9.
解説 学校安全基準	喜多明人・橋本恭宏・船木正文・森浩寿	不磨書房	2008.5.
災害と子ども支援 復興のまちづくりに子ども参加を	安部芳絵	学文社	2016.5.
資料集 東日本大震災・原発災害と学校 岩手・宮城・福島の教育行政と教職員組合の記録	国民教育文化総合研究所	明石書店	2013.9.
「学校安全条例」要綱案モデルの提案 学校安全基準の立法化に関する研究法尾国 - その2	日本教育法学会 学校事故問題研究特別委員会		2005.8.
「学校安全指針」モデル案の検討 - 人権尊重・協働・開放型の学校安全の創造 -	日本教育法学会 学校事故問題研究特別委員会		2007.5.
学校の安全を見る目に確かさを	喜多明人・永井憲一・橋本恭宏・船木正文・村本宏行・高野敏春	成文堂	2006.3.
みんなの学校安全 いのちを大事にする社会へ	喜多明人・浅見洋子	エイデル研究所	2016.7.
11歳 生きてこそ - 今、学校事故を問う	若林勝・ひろみ	東銀座出版社	1995.7.
先生はぼくらを守らない - 川西市立中学校熱中症死亡事件 -	宮脇勝哉・宮脇啓子	エピック	2004.7.

■その他(内申書・中退など)

著書名	編著者名	発行所	発行年
職員室の話題にみる 高校中退の教育的検討	和田彰男	学事出版	1989.4.
高校中退 克服のためのカルテ	小林剛	有斐閣	1987.8.
教育工場の子どもたち	鎌田慧	岩波書店	1984.1.
内申書を考える	今橋盛勝・瀬戸則夫・鶴保英記・山崎真秀	日本評論社	1990.8.
内申書の開示と高校入試の改変	今橋盛勝	明治図書	1993.4.
内申書	全国進路指導研究会	民衆社	1976.1.

## B-5 子どもの人権と学校改革

### 1) 少年非行問題

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	暴力の学校 倒錯の街	藤井誠二	雲母書房	1998.11.
	ブリキの勲章 非行をのりこえた45人の中学生と教師の記録	能重真作	民衆社	1979.11.
	青春の叛乱 落ちこぼされた少年少女達の告白	榊田武宗	ペップ出版	1979.5.
	考える高校生の本⑩ 女子非行	本場敬三・田嶋英輔	高校生文化研究会	1978.10.
	現代の非行問題 教育・福祉・司法	山口幸男	民衆社	1978.5.
	ぼくたちやってない 東京・綾瀬母子強盗殺人事件	横川和夫・保坂渉	共同通信社	1992.5.
	先輩が怖い！ -中学生に広がる新・身分制度	保坂展人	リヨン社	1989.9.
	少年漂流記	西山明	共同通信社	1998.12.
	児童問題講座 第8巻 非行問題	山口幸男	ミネルヴァ書房	1975.9.
	非行 教師・親に問われているもの	能重真作・矢沢幸一郎	民衆社	1986.4.
	戦後教育の検証2 校内暴力	柿沼昌芳・永野恒雄	批評社	1997.5.
	少年警察活動と子どもの人権 -子どもの健全な成長を願って	日本弁護士連合会少年法「改正」対策本部	日本評論社	1991.10.
	積み木くずし 親と子の二百日戦争	穂積隆信	桐原書店	1982.9.
	続・積み木くずし その後の娘と私たち	穂積隆信	角川書店	1985.8.
	家庭崩壊と非行	菊池和典・堀内守	学事出版	1983.11.
	子ども法律カウンセリング 出生から20歳まで	石川恵美子・影山秀人・串田誠一	有斐閣	1991.9.
	かげろうの家 女子高生監禁殺人事件	横川和夫・保坂渉	共同通信社	1990.11.
	少年の非行と教育 少年法制の歴史と現状	守屋克彦	勁草書房	1977.1.
	少女反抗期 どうする？理由なき反抗	尾木直樹	学陽書房	1991.8.
	君和田和一の非常克服 30条 学生生活のすそ野から非行事件の長作戦まで	君和田和一	あゆみ出版	1986.4.
	少年非行	樋口幸吉	紀伊国屋書店	1963.5.
	月刊生徒指導 1991年5月増刊号		学事出版	1991.5.

これでたばこがやめられる、君の可能性はもっと大きく伸びる！君の価値観について考えよう			
ファミリアル仏教誌 Vol.427 ぴっばら 1999年12月号 シリーズ青少年は今 少年法「改正」についての問題点		全国青少年強化協議会	1999.12.
教育と福祉のため子どもの「問題行動」理解の心理学	会田元明	ミネルヴァ書房	2005.4.
思春期挫折症候群 -現代の国民病-	稲村博	新曜社	1983.2.
子どもたちの現在 -子ども文化の構造と論理-	斎藤次郎	風媒社	1975.8.
[ルポルタージュ]死角からの報告 -子どもが「人間」を殺した	斎藤茂雄	太郎次郎社	1983.3.
「反省が処分」の教育 子どもが驚くほど変わる非行克服のキメ手	石井和彦	一光社	1981.7.
子どもたちの復讐(下) -祖母殺し高校生時節事件	本多勝一	朝日新聞社	1979.7.
好奇心ブック7号 神戸事件で分かったニッポン		双葉社	1997.10.
「非行」と向き合う	浅川道雄	新日本出版社	1998.2.
分けられた場でも事件 -神戸小学生殺害事件-	須磨友男	現代書館	1998.8.
児童心理 1997年11月号別冊 神戸小学生殺害事件 事件の背景とこれからの教育を考える		金子書房	1997.11.
仮面の家 先生夫婦はなぜ息子を殺したのか	横川和夫	共同通信社	1993.7.
少年犯罪と向きあう	石井小夜子	岩波書店	2001.12.
ARASHI-その時 手記・親と子の「非行」体験	「非行」と向き合う親たちの会	新科学出版社	1996.6.
学校犯罪と少年非行 アメリカの現場からの警告と提言	R・ローレンス	日本評論社	1997.7.
子ども・家庭…そして非行 -補導委託の現在と子ども教育-	第一東京弁護士会少年法委員会	ぎょうせい	1994.10.
検証 少年犯罪 -子ども・親・付添人弁護士に対する実態調査から浮かび上がるもの	日本弁護士連合会	日本評論社	2002.7.
叢書 産育と教育の社会史4 子どもの社会史 子どもの国家史	「産育と教育の社会史」編集委員会	新評社	1984.11.
いま、子ども社会に何がおこっているか	日本子ども社会学会	北大路書房	1999.6.
岩波ブックレット No.275 希望としての子ども	中野ヒカル	岩波書店	1992.10.
子どもを見直す 塾と生活の側から	斎藤次郎	中央公論社	1979.5.

少年期不在 -子どものからだの声をきく	竹内常一	青木書店	1998.7.
ルポルタージュ いま、子どもたちは…	瀬谷道子	日本機関紙協会	1979.11.
子どもの人権双書5 少年非行と子どもたち	後藤弘子	明石書店	1999.8.
家裁調査官が見た少年法 50年 司法的機能と福祉的機能の調和	寺尾絢彦	現代人文社	2003.4.
少年犯罪と少年法	後藤弘子	明石書店	1997.9.
ちょっとまって少年法「改正」	団藤重光・村井敏邦・斉藤豊治ほか	日本評論社	1999.5.
ティーンコート 少年が少年を立ち直らせる裁判	山口直也	現代人文社	1999.12.
少年司法における子どもの権利 国際基準および模範的慣行へのガイド	国連ウィーン事務所	現代人文社	2001.10.
少年司法と国際準則 -非行と子どもの人権-	沢登俊雄・比較少年法研究会	三省堂書店	1991.11.
教育と少年司法を結んだ先にあるもの 子どもへの「寛容」を求めて	中川明	太郎次郎社エディタス	2024.1.
私法福祉の焦点 -少年司法分野を中心として-	加藤幸雄・野田正人・赤羽忠之	ミネルヴァ書房	1994.11.
少年法のあらたな展開 -理論・手続き・処遇	猪瀬慎一郎・森田明・佐伯仁志	有斐閣	2001.6.
少年法(条文解説)	田宮裕	有斐閣	1986.4.
少年問題と少年法	森田宗一	有斐閣	1961.11.
ポケット註釈全書(5) 少年法	団藤重光・内藤文質・森田宗一・四ツ谷巖	有斐閣	1956.1.
少年保護論	山口透	有斐閣	1974.6.
岩波講座 子どもの発達と教育1 子どもの発達と現代社会		岩波書店	1979.6.
子ども白書 1996年版「自分づくり」の危機-奪われる子ども期-	日本子どもを守る会	草土文化	1996.8.
東京大学公開講座 子ども	向坊隆	東京大学出版会	1979.11.
精神科医の子育て論	服部祥子	新潮社	1991.7.
子どもはもういない	ニール・ポストマン	新樹社	2001.12.

## 2) 学校の管理主義と子どもの人権

### ■ 体罰・懲戒

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	生徒懲戒の研究	兼子仁・坂本秀夫	学陽書房	1977.10
	教師の懲戒と体罰	牧正名・今橋盛勝	総合労働研究所	1982.6
	教育と体罰 ◎水戸五中事件裁判記録	今橋盛勝・安藤宏	三省堂	1983.4
	教師の体罰と子どもの人権 ●現場からの報告	「子どもの人権と体罰」研究会	学陽書房	1986.9
	管理主義教育をこえて 教育に人間のまなざしを	村上義雄・中川明・保坂展人	有斐閣	1986.11
	生徒規範の研究 生徒規則の法社会的見方・考え方	高野桂一	ぎょうせい	1987.4
	教師の体罰・暴力 どうしたらなくせるか	大槻健・今橋盛勝・津田玄児	学事出版	1987.6
	管理・校則・体罰 一問題点と改革の方法	「月間高校生」編集部	高校出版	1990.12
	懲戒・体罰法制と実態	牧正名・今橋盛勝・林量俣・寺崎弘昭	学陽書房	1992.12
	ザ・校則 NHK 中学生日記11	関 功	ポプラ社	1993.11
	日本の教育課題4 生活の指導と懲戒・体罰	藤田昌士	東京法令出版	1996.10
	イギリス学校体罰史 「イーストボーンの悲劇」とロッキの構図	寺崎弘昭	東京大学出版会	2001.12
	みんなで考えよう！体罰のこと	神原文子・田村公江・中村哲也	解放出版社	2024.9

### ■ 校則・管理教育問題

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	学校と子どもの人権 新日本新書 337	牧正名	新日本出版	1984.5
	学校生活と子どもの人権 一校則、体罰、警察への依存をめぐる一	日本弁護士連合会 第28回人権擁護大会シンポジウム第一分科会		1985
	子どもの人権と学校 父母・市民・教師・弁護士たちの記録	「子どもの人権と体罰」研究会 「体罰と管理教育を考える会」	草土文化	1987.7
	No.76 教育と子どもの人権読本 教職研修総合特集	山本政男	教育開発研究所	1991.3
	学校に市民社会の風を 子どもの人権と親の「教育の自由」を考える	中川明	筑摩書房	1991.10
		日本弁護士連合会 第34回人権擁護大会シンポジウム第3分科会		1991.11

「学校と子どもの人権」子どもの権利シリーズ第1巻	東京弁護士会 子どもの人権と少年法に関する委員会		1993.10
子どもの人権と教育	加藤晴明	日本加除出版	1996.8
「日の丸・君が代裁判」と思想・良心の自由 意見書・証言録	土屋英雄	現代人文社	2007.9
学校から言論の自由がなくなる ある都立高校長の「反乱」	土肥信雄・藤田英典・尾木直樹・西原博史・石坂啓	岩波書店	2009.2
それは、密告からはじまった 校長 VS 東京都教育委員会	土肥信雄	七つ森書館	2011.2
学校ってボクらの力で変わるねー子どもの権利が生きる学校づくりー	植田一夫	高文研	2021.4
校則、授業を考える生徒たち 開かれた学校づくりの実践と研究	浦野東洋一・勝野正章・中田康彦・宮下与兵衛	同時代社	2021.5
アンパンマンは正義のヒーローか 教育における正義の思考実験	篠原清昭	ジダイ社	2023.4

### 3)子どもの権利条約と学校改革

著書名	編著者名	発行所	発行年
子どもの文化叢書 学校と子ども	名取弘文	現代書館	1979.6
コンプレハンシヴ・スクール シリーズ・世界の教育改革6	R・パドレー 岸本弘・岸本紀子訳	明治図書	1979
3年B組 金八先生 十五歳の愛	小山内美江子	高校生文化研究会	1980.1
学校環境と子どもの発見 学校施設の理念と法制	喜多明人	エイデル研究所	1983.9
子どもたちからの教育改革	山本実・岩手両教祖教育改革推進委員会		1985.11
素顔を見せない子どもたち 閉ざされた世界をどう開くか	村山士郎	大月書店	1988.12
ザ・中学教師 ダメ教師殲滅作戦 別冊宝島108号	石井慎二	JICC 出版局	1990.3
子どもの権利条約 学校は変わるのか	柿沼昌芳・田沼朗・三上昭彦	国土社	1991.8
子どもと学校 岩波新書212	河合隼雄	岩波書店	1992.2
子どもの人権と教科書	浪本勝年	北樹出版	1992.4
学校5日制の“ゆとり”ってナンナダ!?	世田谷ボランティア協会・トーキングキッズ	ジャパンマニシスト社	1993.4
ある闘いの記録 頭髪校則の撤廃をもとめて	芹沢美保・芹沢俊介	北斗出版	1993.10
学校の役割と教育法	島ノ江一彦	エイデル研究所	1994.3
学校教育における親の権利	結城忠	海鳴社	1994.6
新世紀の子どもと学校 子どもの権利条約をどう生かすか	喜多明人	エイデル研究所	1995.5
子どもの権利と学校教育の改革 付録フランスの中等学校生徒の教育の権利	北川邦一	かもがわ出版	1995.5
子どもとつくる教育課程 学校で宝物見つけた	梅原利夫	新日本出版社	1995.6

子ども観の転換と学校づくり	教育科学研究会	国土社	1995.7
児童の権利条約と学校の指導	滝沢順・磯脇一男・加藤英明・影山博之・久野猛	日本加除出版	1995.12
動き始めた教育改革	寺脇研	主婦の友社	1997.1
やればできる学校革命 夢をはぐくむ教育実践記	武藤義男・井田克興・長澤悟	日本評論社	1998.5
「超」教育 21世紀教育改革の指針	ダニエル・グリーンバーグ 大沼安史訳	一光社	1998.12
学校の失敗 誰が子供を救うのか	向山洋一	扶桑社	1999.4
学校でとりくむ子どもの権利条約 国連子どもの権利勧告を活かす	子どもの人権連・学習研究委員会	エイデル研究所	1999.5
総合学習を学びの広場に 手づくりと協働の知恵	岩川直樹	大月書店	2000.2
現代日本の学校改革	北川邦一	清風堂書店	2000.6
学校選択の自由化をどう考えるか	池上洋通・久富善之・黒沢惟昭	大月書店	2000.8
つながりの教育	木村浩則	三省堂	2003.6
学校大好き！コミュニティ・スクール 未来に輝く小中一貫教育を目指して	御所南コミュニティ・京都市立御所南小学校研究同人	御所南コミュニティ	2006.11
学びの共同体を創造する学校 未来に輝く小中一貫コミュニティスクール	けやきプロジェクト 京都市立京都御池中学校	けやきプロジェクト	2006.11
部活動学 子どもが主体のよりよいクラブをつくる24の視点	神谷拓	ベースボールマガジン社	2020.6
民主主義の育て方 現代の理論としての戦後教育学	神代健彦	かもがわ出版	2021.7

#### ■学校教職員(SSWrを含む)と親・保護者参加

著書名	編著者名	発行所	発行年
〔復刻版〕学テ日本一物語	香川教師集団	明治図書	1965.3
子どもたちの危機 「教師の指導課題は何か」	全国生活指導研究会	明治図書	1990.1
父と子の学校選び	河合塾	講談社	1991.7
父母の教育権研究 イギリスの父母の学校選択と学校参加	窪田真二	亜紀書房	1993.1
学校の条件 学校を参加と学習と自治の場に	竹内常一	青木書店	1994.4
学校参加と権利保障 アメリカの教育行財政	平原春好	北樹出版	1994.4
親と住民参加の学校づくり 福岡から教育の地方自治を考える	原口政敏・渡辺治・上村正則	自治体研究社	1995.11
神戸発！『親バカ』奮戦記 校門圧死事件から親の教育権を求めて	神戸高塚高校事件考える会	光陽出版社	1996.1
スクールカウンセラーの実際 こころの科学創刊	大塚義孝	日本評論社	1996

親の学校参加 良きパートナーとして	中島博・山西優二・沖清豪	学文社	1998.12
エコロジカル子ども論	スクールソーシャルワーカー 山下英三郎	学苑社	1999.7
臨床心理士によるスクールカウンセラー 現代のエスプリ別冊	村山正治	至文堂	2000.4
学校評議員ガイド	葉養正明	ぎょうせい	2000.10
スクールソーシャルワーカー論	日本ソーシャルワーカー研究会 山下英三郎ほか	学苑社	2008.2
日本におけるスクールソーシャルワーカーの実証研究—福祉の固有性の探求— 山野則子 文科省科学研究費			2008.3
子どもは好きに育てていい「親の教育権」入門	西原博史	日本放送出版協会	2008.5
参加と共同の学校づくり 「開かれた学校づくり」と授業改革の取り組み	宮下与兵衛・濱田郁夫・草川剛人	草土文化	2008.8
学校から見える子どもの貧困	藤本典裕・制度研	大月書店	2009.5
私ならこう変える！ 20年後からの教育改革		ほんの木	2010.1
「免許更新制」では教師は育たない 教師教育改革への提言	喜多明人・三浦孝啓	岩波書店	2010.8
新スクールソーシャルワーカー論 —子ども中心にすえた理論と実践	山下英三郎・内田宏明・牧野昌哲	学苑社	2012.9
教育と修復的正義	竹原幸太	成文堂	2018.3
PTAのトリセツ ～保護者と校長の奮闘記～	今関明子/福本靖	世論社	2019.5
教師はあきらめない かけがえのない生徒たちへ	三木ひろ子	新日本出版	2020.10
入門 スクールソーシャルワーカー論	内田宏明	ミネルヴァ書房	2022.3

#### ■尾木直樹著作と教育改革

著書名	編著者名	発行所	発行年
おんぼろ学級⇄受験作戦	尾木直樹	学陽書房	1979.12
生徒の力を育てる学級づくり —舞台裏の指導—	尾木直樹	日本書籍	1990.11
少女反抗期 どうする？理由なき反抗	尾木直樹	学陽書房	1991.8
子どもと対等の教育 子ども観の転換と協同づくり	尾木直樹	学陽書房	1996.10
学校は再生できるか	尾木直樹	日本放送出版協会	1998.10
心罰 子どもを傷つける行為	尾木直樹	学陽書房	1999.5
「学級崩壊」をどうみるか	尾木直樹	日本放送出版協会	1999.6
子どもの危機をどう見るか 岩波新書686	尾木直樹	岩波書店	2000.8

思春期の危機をどう見るか 岩波新書 998	尾木直樹	岩波書店	2006.3
新・学歴社会がはじまる ～分断される子どもたち	尾木直樹	青灯社	2006.11
いじめ問題とどう向き合うか 岩波ブックレット 695	尾木直樹	岩波書店	2007.3
「新」教育基本法と私たち	尾木直樹	アドバンテージサーバー	2007.4
うちの子の幸せ論 個性と可能性の見つけ方、伸ばし方	ほんの木編 尾木直樹・奥地圭子・汐見稔幸ほか	ほんの木	2007.6
バカ親って言うな！—モンスターペアレントの謎	尾木直樹	角川書店	2008.4
教育が破綻が日本を滅ぼす！立ち去る教師、壊れる子ども達	尾木直樹	KK ベストセラーズ	2008.12
変わるか？日本の教育 現場の視点から「教育改革」を斬る	尾木直樹	新日本出版	2009.9
「全国学力テスト」はなぜダメなのか 本当の「学力」を獲得するために	尾木直樹	岩波書店	2009.12
子ども格差 一壊れる子どもと教育現場	尾木直樹	角川書店	2010.2
尾木ママの共感♡子育てアドバイスあせらない叱らない抱え込まない	尾木直樹	中央法規出版	2011.12
「学び」という希望 震災後の教育を考える 岩波ブックレット 837	尾木直樹	岩波書店	2012.6
取り残される日本の教育 わが子のために親が知っておくべきこと	尾木直樹	講談社	2017.1
こわい顔じゃ 伝わらないわよ 尾木ママの子育てアドバイス	尾木直樹	新日本出版	2020.7

#### 4) 日本の教育法制と教育への権利

■季刊教育法 1～223号（総合労働研究所・エイデル研究所）

■解説教育六法（三省堂）2000年度版～2019年度版

■教育の自由など

## B-6 子どもの学ぶ権利と学校外の多様な学び

### ■ オルタナティブ教育

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	脱学校の社会	イヴァン・イリッチ 東 洋・小澤周三訳	創元社	1977.10
	子どもをのばす自由教室	若狭蔵之助	講談社	1983.2
	フリースクール その現実と夢	パット・モンゴメリー／クレア・V・コーン	一光社	1984.3
	世界の自由学校 子どもを生かす新しい教育	堀真一郎	麦秋社	1985.7
	登校拒否 不登校 子どもたちの警告	京都教育センター	かもがわ出版	1990.9
	学校から拒否される子どもたち 就学時検診と就学指導	小笠毅	岩波書店	1990.12
	学校ぎらいにさせないで 精神科医からのアドバイス	石田一宏	岩波書店	1992.1
	不登校・登校拒否 悩める親と子へのメッセージ	横湯園子	岩波書店	1993.4
	引きこもりと登校・就職拒否	富田富士也	ハート出版	1994.10
	学校は義務じゃない ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの活用実践の手引き	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・ｱﾌﾞﾗｲﾌﾞ 相沢・石井・鳥居・平山訳	明石書店	1997.4
	世界フリースクール大会 ぼくたちの体験 in ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・ｽｸｰﾙ	東京シューレ 世界フリースクール大会参加交流実行委員会		1999.7
	アジアの不登校1 韓国の不登校 日韓不登校交流 報告書	東京シューレ		2000.8
	宮台真司と湘南に新しい公立学校を創り出す会	湘南に新しい公立学校を創り出す会		2000.9
	市民がつくる公立学校 「セカイ、つぎ何やるの」から「わたし、これをやりたい」へ	佐々木洋平	コモンズ	2001.4
	21世紀 もう一つの学校案内	21世紀教育研究所	主婦の友社	2001.6
	アジアの不登校2 韓国の教育と代案教育 訪韓調査研究 報告書	東京シューレ		2001.8
	チャータースクールの胎動 新しい公教育をめざして	ﾌｧｽﾀｰ・E・ﾌｧｲﾝ Jr. ﾎﾙﾊﾞｰﾄﾞ・ﾏﾝ ﾍﾞﾘｯｸ	青木書店	2001.8
	オルタナティブな教育実践と行政の在り方に関する国際比較研究	中間報告事例集 国際オルタナティブ教育研究会 永田佳之		2001.12
	オルタナティブな教育実践と行政の在り方に関する国際比較研究	最終報告書 国際オルタナティブ教育研究会 永田佳之		2003.3
	子どもサミット 3・26 一不登校を通して思うこと	フリースペースふきのとう		2004.8
	オルタナティブ教育 国際比較に見る 21世紀の学校づくり	永田佳之	新評論	2005.6
	世界一素敵な学校 サドベリーバレー物語	ダニエル・グリーンバーグ 大沼安史訳	緑風出版	2006.4
	コルの「子どもの学校論」 デンマークのオルタナティブ教育の創始者	クリステン・コル 清水満訳	新評論	2007.12
	バカをつくる学校 義務教育には秘密がある	ジョン・テイラー・ガット 高尾菜つこ訳	成甲書房	2006.9

自分を生きる学校 いま芽吹く日本のデモクラティックスクール	デモクラティック・スクールを考える会	せせらぎ出版	2008.6
第1回 日本フリースクール大会	フリースクール全国ネットワーク		2009.1
きの中 交響曲第15番 きの中15周年記念文集	きのくに子どもの村学園		2009.3
山の村から世界がみえる 中学生たちの地域研究	きのくに子どもの村中学校わらじ組	黎明書房	2009.12
日本でサドベリー ～教育もステキに選びたい～	きむらゆき	(青森JOC-印刷)	2010.1
手仕事を学校へ	セレスタン・フレネ 宮ヶ谷徳三訳	黎明書房	2010.6
自由な学びとは サドベリーの教育哲学	ダニエル・グリーンバーグ 大沼安史訳	緑風出版	2010.10
祖国よ、安心と幸せの国となれ オランダ型成熟・市民社会を日本復興のビジョンに	リヒテルズ直子	ほんの木	2011.9
子どもとともに笑う きのくに子どもの村の20年を語る	きのくに子どもの村学園20周年記念誌編集委員会	きのくに子どもの村学園	2011.11
日本のシュタイナー学校<社会とのつながり>資料編(～2012)	大阪府立大学 吉田敦彦	せせらぎ出版	2012.3
ルポ シュタイナー学校の1年 学びを選ぶ学びをつくる	川畑秀之	時事通信社	2013.7
きのくに子どもの村の教育 体験学習中心の自由学校の20年	堀真一郎	黎明書房	2013.7
シュール大学紀要 世界を自分に取り戻す	高橋貞恩・平井渚・松川明日美	東京シュール	2013.10
箕面子どもの森学園 10年の歩み	10周年記念誌編集委員会	箕面子どもの森学園	2013.10
こんな学校あったらいいな 小さい学校の大きな挑戦	辻正矩・藤田美保・守安あゆみ・中尾有里	築地書館	2013.10
ノンフォーマル教育の可能性 リアルな生活に根ざす教育へ	丸山英樹・太田美幸	新評論	2013.12
学習する学校 子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する	ピーター・M・センゲ リヒテルズ直子訳	英治出版	2014.1
シュール大学紀要 世界を自分に取り戻す	長畑洋	東京シュール シュール大学	2014.10
親と先生でつくる学校 京シュタイナー学校12年間の学び	京田辺シュタイナー学校	せせらぎ出版	2015.1
自ら学ぶ自由に生きる～究極の多様性教育	全国サドベリー小冊子プロジェクト		2015.11
全国オルタナティブスクール実態調査に関する報告書	藤根雅之・橋本あかね(大阪府立大学大学院)		2016.1
フリースクール等における在宅支援を含めた 個別支援の実践事例報告集	フリースクール全国ネットワーク		2016.2
オルタナティブな学び実践研究交流会in関西	オルタナティブな学び実践研究交流会実行委員会 大阪府立大学大学院		2016.2
ホームエデュケーション始めました	東京シュール		2017.5
教育機会確保法の誕生 子どもが安心して学び育つ	フリースクール全国ネットワーク・多様な学び保障法を実現する会	東京シュール出版	2017.8
フリースクール等の支援の在り方に関する調査研究	加瀬進(東京学芸大学)		2018.3
親子が幸せになる子どもの学び大革命	保坂展人・リヒテルズ直子	ほんの木	2018.9
みんなで創るミライの学校 21世紀の学びにカタチ	辻正矩・藤田美保・守安あゆみ・佐野純	築地書館	2019.11

子どもの学ぶ権利と多様な学び 誰もが安心して学べる社会へ	喜多明人	エイデル研究所	2020.2
日本のオルタナティブ学校<多様性と公共性>資料編(2016~2020)	吉田敦彦	大阪府立大学	2020.3
学びを選ぶ時代 子どもが個性を輝かせるために親ができること	東京都フリースクール等ネットワーク	プチ・レトル(株)	2020.11
Tokyo Sudbury School Yearbook 2020	東京サドベリースクール		2020
多様な学びを創る 不登校支援から多様な学び支援へ	喜多明人・中村国生	東京シューレ出版	2021.1
教育のオルタナティブ <ホリスティック教育/ケア>研究のために	吉田敦彦	せせらぎ出版	2022.3
TOKYO SADBURY SCHOOL YEAR BOOK 2024	東京サドベリースクール		2024
日本のフリースクールと台湾の実験教育	王美鈴	学文社	2025.12

\*オルタナティブスクール紹介 リーフレット・パンフレット集

#### ■不登校の子どもと学ぶ権利

著書名	編著者名	発行所	発行年
登校拒否 どうしたら立ち直れるか	詫磨武俊・稲村博	有斐閣	1980.9
この学校にいと狂っちゃうよ	ナット・ヘントフ 片桐よう子訳	晶文社	1981.5
学校に行かない子どもたち 登校拒否ー新し生き方の発見	東京拒否を考える会	教育史料出版会	1987.2
登校拒否からの旅立ち 20 ロード	高橋良臣	高校出版	1990.10
学校に行かない僕から 学校に行かない君へ	「東京シューレ」の子どもたち	教育史料出版会	1991.1
東京シューレ物語	奥地圭子	教育史料出版会	1991.1
不登校を生きる それぞれの体験と交流	登校拒否を考える各地の会ネットワーク	教育史料出版会	1992.3
登校拒否はとまらない 第二の国民病か	竹見智恵子	三一書房	1993.2
自分さがしの旅の始まり 高校中退者の青春嘆歌	内山義一・真鍋照雄	学事出版	1994.7
不登校の子どもたちは家庭でどうしているか	東京シューレ	教育史料出版会	1996.11
笑う不登校 子どもと楽しむそれぞれの日々	『笑う不登校』編集委員会	教育史料出版会	1999.9
つながり合う不登校 '99 夏の全国ネット合宿記録集	登校拒否を考える全国ネットワーク		2000.8
不登校 出会って、語って 夏の全国合宿 2001 記録集	登校拒否を考える全国ネットワーク		2001.8
この人が語る不登校	全国不登校新聞社	講談社	2002.2
不登校と医療 不登校と医療についてのアンケート調査	シューレ大学 不登校研究会	東京シューレ	2002.7
富山発 フリースクール物語 私たちフットーしました	富山 YMCA スクール	富山 YMCA 駅前センター	2004.5

わが子が不登校で教えてくれたこと	野村俊幸	新風社	2005.7
東京シューレ 子どもとつくる 20年の物語	奥地圭子	東京シューレ出版	2005.7
学校へ行かなかった私たちのハローワーク	東京シューレ	東京シューレ出版	2005.7
子どもは家庭でじゅうぶん育つ 不登校、ホームレス、イノベーションと出会う	東京シューレ	東京シューレ出版	2006.1
変えよう！日本の学校システム 教育に競争はいらない	古山明男	平凡社	2006.6
子ども中心の教育 最前線	東京シューレ		2008.3
フリースクール ポクらの居場所はここにある！	フリースクール全国ネットワーク	東京シューレ出版	2009.2
不登校 ひきこもりを とらえなおす	フリースペースたまりばシンポジウム		2009.3
支えあって生きる 登校拒否・不登校親の会 20年全国調査	登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク		2009.8
わが子が不登校で教えてくれたこと 改訂版	野村俊幸	文芸社	2009.11
閉塞感のある社会で生きたいように生きる 柳ケティン 大学で学ぶ	シューレ大学	東京シューレ出版	2010.2
子どもはいのちという原点から 不登校これまでとこれから	登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク	東京シューレ出版	2010.9
不登校と医療のいまを考える 医療関係者とのネットワークづくり助成事業報告書	登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク		2011.3
東京シューレ葛飾中学校5周年記念誌	東京シューレ葛飾中学校 5周年祭実行委	東京シューレ葛飾中学校	2012.
サムライフ	長岡秀貴	ポプラ社	2015.1
東京シューレOB・OG100人インタビュー	東京シューレ		2015.7
東京シューレ 30周年記念誌	東京シューレ学園		2015.7
東京シューレ葛飾中学校 10周年記念誌	東京シューレ学園 東京シューレ葛飾中学校	東京シューレ葛飾中学校	2017.5
学びに「成功する子供」 教えに「失敗する大人」	渡辺克彦	ポプラ社	2017.10
明るい不登校 創造性は「学校」外でひらく	奥地圭子	NHK出版	2019.8
事例から見るフリースクールのつくりかた	フリースクール全国ネットワーク	神谷印刷	2021.7
マンガでわかる！学校に行かない子どもが見ている世界	西野博之 マンガ 来来珈琲店	KADOKAWA	2024.6

## B-7 子どもの家庭環境と福祉の権利

### ■児童福祉・教育福祉と子どもの権利

	著書名	編著者名	発行所	発行年
	子どもの生活圏 NHK ブックス 86	一番ヶ瀬康子・泉順・小川信子・窪田暁子・穴戸健夫	日本放送出版協会	1969.4
	教育法学叢書2 教育と福祉の権利	小川利夫・永井憲一・平原春好	勁草書房	1972.11
	教育と社会福祉	F. H. ベドレイ 山口幸男訳	全国社会福祉協議会	1971.9
	児童問題講座1 児童政策	一番ヶ瀬康子	ミネルヴァ書房	1976.1
	児童問題講座3 児童の権利	佐藤進	ミネルヴァ書房	1976.2
	児童問題講座2 児童の教育と文化	小川太郎	ミネルヴァ書房	1976.8
	国際児童年ハンドブック 花には太陽を	羽仁説子	徳間書店	1979.3
	現代の子どもと人権	一番ヶ瀬康子	ドメス出版	1981.7
	人権としての社会保障原則 ―社会保障憲章と現代―	小川政亮	ミネルヴァ書房	1985.5
	改訂新版 児童福祉法の解説	厚生省児童家庭局	時事通信社	1987.1
	中川志郎の子育て論 動物にみる子育てのヒント	中川志郎	エイデル研究所	1990.12
	「子どもの権利条約」と日本の子ども・子育て	増山 均	部落問題研究所	1991.12
	子どもの健康診断 受けかた・受けとめかた 岩波ブックレットNo.285	毛利子来	岩波書店	1993.2
	「子ども時代」は二度と来ない。だからー	増山 均	子ども劇場連絡会	1994.2
	子ども白書 1994 年版 家族と子どもの権利	日本子どもを守る会	草土文化	1994.8
	子どもの生活と援助 子どもの権利条約時代の児童福祉	長谷川真人・神戸賢次・松井一晃	ミネルヴァ書房	1996.4
	子どもの権利と児童福祉法 社会的子育てをシステムで考える	許斐 有	信山社	1996.12
	社会福祉の法律入門 有斐閣新書	佐藤進・小島美都子	有斐閣	1996.12
	教育と福祉のための子ども観 <市民の子どもとしての社会参加>	増山 均	ミネルヴァ書房	1997.5
	児童福祉改革と実践の課題 児童福祉・保育の新時代への提言	浅井春夫	日本評論社	1998.6
	子育ては あたたかく やわらかく ゆったりと	増山 均	柏書房	1999.11
	子どもの権利と福祉	高山直樹・鈴木力	相川書房	2000.3
	現在(いま)の子どもがわかる本	門脇厚司・久富善之	学事出版	2000.9

教育福祉論入門	小川利夫・高橋正教	光生館	2001.1
輝ける子 100メートルを10秒で走れと言われてもさ…	明橋大二	1万年堂出版	2002.7
フィールド・ノート 子どもの権利と育つ力	安藤 博	三省堂	2002.10
子育て福祉の展開 平成女性のライフスタイル考	栗山直子	川島書店	2005.3
登園しづり 登校しづり	内田良子	ジャパンマシニスト社	2009.5
心の声に耳を傾ける 親と子のパイプはうまく流れていますか？	明橋大二	1万年堂出版	2016.3

### ■保育・子育て支援・乳幼児の権利

著書名	編著者名	発行所	発行年
保育一元化の原理—子どもの全面発達をめざして—	一番ヶ瀬康子	勁草書房	1973.3
子どもの権利と幼児教育 幼児の教育とは何か	林信二郎、阿部真美子、堀智晴	川島書店	1976.4
新版集団保育とこころの発達	近藤薫樹	新日本新書	1978.3
保育所行政の法律問題	田村和之	勁草書房	1981.5
さくらんぼ坊やの世界 乳幼児の育ちゆくみちすじ	山崎定人・斎藤公子	労働旬報社	1983.12
子育ては保育所とともに	河添邦俊・佐野勝徳	エイデル研究所	1985.5
「待ち」の子育て 人間選書 77	山田桂子・文 橋本紘二	農山漁村文化協会	1986.1
男だって子育て 岩波ジュニア新書 127	広岡守穂	岩波書店	1990.6
子どもの自立と生活力	丸岡玲子	大月書店	1990.7
お父さんの心がわかる本 円満家庭への第一歩	関谷 透	独楽書房	1991.7
21世紀に向けて児童館・学童保育プレリユード	児童館・学童保育 21世紀委員会	萌文社	1994.2
子どもの権利条約 家教連ブックレットNo.2	家庭科教育研究者連盟		1994.7
児童福祉法「改正」と私たちの保育	村山祐一・二宮厚美	自治体研究社	1997.7
続・変えたいね、保育園	子どものための保育ネットワーク	生活ジャーナル	1999.8
子どもを見る 変化を見つめる保育 保育原理入門	大森隆子・甲斐仁子・森山久子	ミネルヴァ書房	1999.11
NEW 現代保育学入門	諏訪きぬ	フレーベル館	2001.2
子どもの人権双書7 乳幼児期のこどもたち	坪井節子	明石書店	2003.5
子どもの人権双書7 乳幼児期のこどもたち	坪井節子	明石書店	2003.5
私たちが求める学童保育の設置・運営基準 学童保育の指針(案)	全国学童保育連絡協議会		2003.6

子どもの権利と「保育の質」 保育問題最前線からの提起	浅井春夫	かもがわ出版	2003.7
子どもの権利と「保育の質」 保育問題最前線からの提起	浅井春夫	かもがわ出版	2003.7
かならず実る子育てのひ・み・つ 子育て支援・次世代育成の心	増山 均	かもがわ出版	2004.9
保育の底力	浅井春夫	新日本出版社	2007.7
光と風とぬくもりと 子どもの尊さの発見	増山 均 + 菱沼洋一・おひさま保育園	かもがわ出版	2008.2
民間委託で学童保育はどうなるの？	東京小金井の親たち	公人社	2010.3
コミックで発信★保育に活かす子どもの権利条約	公益社団法人全国私立保育連盟	エイデル研究所	2012.12
保育とは何か	近藤幹生	岩波新書	2014.10
「育ち」をふりかえる「生きていい」、そう思える日はきっとくる	渡井さゆり	岩波ジュニア新書	2014.10
子どもの権利条約を学童保育に活かす	安部芳絵	高文研	2020.7

#### ○学童保育情報

	著書名	編集・発行	発行年
学童保育情報 2002-2003	第1部 学童保育の実態と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2002.10
学童保育情報 2003-2004	第1部 学童保育の実態と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2003.11
学童保育情報 2008-2009	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2008.10
学童保育情報 2012-2013	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2012.10
学童保育情報 2013-2014	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2013.10
学童保育情報 2014-2015	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2014.10
学童保育情報 2015-2016	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2015.11
学童保育情報 2016-2017	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2016.10
学童保育情報 2017-2018	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2017.11
学童保育情報 2018-2019	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2018.10
学童保育情報 2019-2020	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2019.10
学童保育情報 2020-2021	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2020.12
学童保育情報 2021-2022	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2021.12
学童保育情報 2022-2023	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2022.12
学童保育情報 2023-2024	第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2024.2

学童保育情報 2024-2025 第1部 学童保育の現状と課題 第2部 資料編	全国学童保育連絡協議会	2015.2
---	-------------	--------

### ■親子・家族と子どもの権利

著書名	編著者名	発行所	発行年
思い出の学園祭 十年の歴史	児童会会長 宮城祐直 児童会担当 高橋・若林	調布学園学園祭実行委	1981.6
羽仁進の新・家庭論	羽仁 進	三省堂	1985.9
親のなるほど難しいことはない	椎名篤子著 前児童相談所長会会長 上出弘之監修	講談社	1993.1
なくそう婚外子差別 認めさせよう多様な生き方 住民票続柄裁判 5周年記念集	住民票続柄裁判交流会		1993.10
親子裁判 ここ30年	田村五郎	中央大学出版部	1996.9
弁護士のお母さんの子育て発見記 暮らしのなかの子どもの人権	坪井節子	草土文化	2000.7
親のしつけ 子のしつけ	斎藤賢治	岩波出版	2001.8
なくそう婚外子・女性への差別 「家」「嫁」「性別役割」をこえて	なくそう戸籍と婚外子差別・交流会	明石書店	2004.2
夫婦・親子関係の法理	中川 淳	世界思想社	2004.10
児童福祉論 子ども家庭福祉論への招待	千葉喜久也	中央法規出版	2005.5
子どもの権利と家庭支援 一児童福祉の新しい潮流	望月彰・谷口泰史	三学出版	2005.7
子どもの貧困と社会的排除	テス・リッジ 中村好孝・松田洋介訳	桜井書店	2010.5
子ども・福祉・ネットワーク	淵上継雄	弦書房	2016.1
ヤングケアラーってなんだろう	澁谷智子	筑摩書房	2022.5
フランスの子どもの育ちと家族	安發明子	かもがわ出版	2023.8

### ■代替的な家庭ケア(児童養護・里親・養子等)

著書名	編著者名	発行所	発行年
親子だもん 1964年連載開始里親開拓記念キャンペーン記事700回記念	毎日新聞大阪本社社会部 原田 勉	新光出版	不明
児童問題講座6 児童養護問題	浦部 史	ミネルヴァ書房	1975.10
作文集 子どもの人権10年の証言 泣くものか	養護施設協議会	亜紀書房	1977.11
たんぼぼの詩 養護施設の職場づくり十年	日本社会福祉労働組合 六踏園分会	日本社会福祉労働組合	1982.4
汚れなき戦士たち 子どもたちの愛と自立養護施設からのレポート	浅井春夫	あいわ出版	1984.8
世紀をひらく児童の権利保障 児童扶養手当制度を考える	「世紀をひらく児童の権利保障」を出版する会	径書房	1985.7

出生から20歳まで 子ども 法律カウンセリング	石川恵美子・影山秀人・串田誠一	有斐閣	1991.9
高校で考えた外国人の人権 ほくらが訳した国連「移住労働者とその家族の権利条約」	神奈川県立多摩高校日本語ボランティアサークル	明石書店	1992.3
家邸崩壊と子どもたち 子どもの人権双書①	子どもの人権双書編集委員会 平湯真人	明石書店	1997.2
施設でくらす子どもたち 子どもの人権双書②	子どもの人権双書編集委員会 平湯真人	明石書店	1997.3
その食事ではキレる子になる 心と脳はこんな食べ物に影響される	鈴木雅子	河出書房	1998.7
戸籍制度と子どもたち 子どもの人権双書⑩	榊原富士子	明石書店	1998.8
親族法・相続法	吉田恒雄・岩志和一郎	尚学社	2000.4
子どもの権利ノート	井上 仁	明石書店	2002.4
どうして私は養子になったの？	キャロル・リヴィングストン 庄司順一訳	明石書店	2003.12
自立支援の児童養護論 施設でくらす子どもの生活と権利	望月 彰	ミネルヴァ書房	2004.4
子どもの福祉と養護内容 施設における実践をどうすすめるか	浅倉恵一・峰島厚	ミネルヴァ書房	2004.10
里親とは何か 家族する時代の社会学	和泉広恵	勁草書房	2006.3
児童養護施設と被虐待児 施設内心理療法家からの提言	森田喜治	創元社	2006.9
子どもの育ちと家族援助	福 知栄子	高菅出版	2006.11
児童養護とは何か 木下茂幸の養育論	木下茂幸	明石書店	2007.12
子どものニーズをみつめる児童養護施設のあゆみ	大江ひろみ・山辺朗子・石塚かおる	ミネルヴァ書房	2013.12
社会的養護からの挑戦 ”負の連鎖“を断ち切るためにできることがある	越前自立支援協会	越前自立支援協会・一陽	2015.11

## B-8 マイノリティ・個別の支援を必要とする子どもの権利

### 1) 障害のある子どもと権利

著書名	編著者名	発行所	発行年
1970 版 障害児教育	日本教職員組合	丸仙実業(株)印刷部	1968.1
精神薄弱児研究 3月号	全日本特殊教育研究連盟	日本文化社	1974.3
権利としての障害児教育	津田道夫・斉藤光正・木田一宏	評論社	1976.5
心身障害者の法律相談室	荘司修久・柴嶺昂	日本文化科学社	1976.6

特殊教育百年史	文部省	東洋館出版社	1978.11
障害児の義務教育	平原春好・清水寛	総合労働研究所	1979.7
障害者の人権を守る国際障害者年をめざして	障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会		1979.7
季刊 福祉労働 No.47 特集「子どもの権利条約を読む」	現代書館		1990.6
先生の宅急便—訪問教育から届ける「重心児」の文化—	加藤忠雄・西村圭也	文理閣	1990.8
障害児・病児のための 発達援助と生活指導	前川喜平・三宅和夫	ミネルヴァ書房	1991.1
シリーズ授業⑩ 障害児教育 発達の壁をこえる	稲垣忠彦・佐伯胖 他	岩波書店	1991.6
子どもの権利条約と障害児 分けられない、差別されないために	子どもの権利条約の趣旨を徹底する研究会	現代書館	1992.4
はばたけ、章成くん 障害高校生と母親の18年	羽場たか子	朝日ソノラマ	1994.10
人権と教育 21 特集 統合教育ダイナミズム	障害者の教育権を実現する会	社会評論社	1994.11
マニュアル 障害児の学校選択 やっぱり地域の学校がいい	宮永潔・羽生田博美	社会評論社	1996.9
障害児教育大辞典	茂木俊彦	旬報社	1997.12
戦支度の日々 ねむの木の子どもたちと	宮城まり子	日本放送出版協会	1981.4
障害者の発達と教育的環境	藤本文朗	青木書店	1983.7
障害児教育研究 13 特集—なぜ統合教育か	障害者の教育権を実現する会	現代ジャーナリズム出版会	1984.1
なにかが生まれる日 ねむの木とまり子	宮城まり子	日本放送出版協会	1986.8
発達保障の探究	田中昌人・清水寛	全障研出版部	1987.8
ハンディをもつ子どもの権利 岩波ブックレットNo.399	小笠毅	岩波書店	1996.4
障害児とともに学ぶ イギリスのインクルーシヴ教育	アリソン・ヴァートハイマー 桑の会訳	明石書店	1998.9
障害をもつ子どもたち	児玉勇二	明石書店	1999.2
大学案内2005障害者版	全国障害学生支援センター		2005.1
だから、僕は学校へ行く！	乙武洋匡	講談社	2007.4
障害とは何か ディスアビリティの社会理論に向けて	星加良司	生活書院	2007.2
支援の障害学に向けて	横須賀俊司・松岡克尚	現代書館	2007.10
パンフレット 障害者権利条約で社会を変えたい	JDF(日本障害フォーラム)	福祉新聞社	2008.9
ねえ！聞かせて、パニックのわけを 発達障害の子どもがいる教室から	篠崎純子・村瀬ゆい	高文研	2009.3
発達障害のある子の「自尊感情」を育てる授業・支援アイデア	小島道生	Gakken	2013.7
大学案内2014障害者版	全国障害学生支援センター		2013.12

知的・発達障害児者の人権 差別・虐待・人権侵害事件の裁判から	児玉勇二	現代書館	2014.10
知的障害者の大学創造への道 ゆたか「カレッジ」グループの挑戦	長谷川正人	クリエイツかもがわ	2015.10
愛着障害 は何歳からでも必ず修復できる	米澤好史	合同出版	2022.9

## 2)ジェンダー・性と子どもの権利(女性の権利との調整)

著書名	編著者名	発行所	発行年

## 3)その他のマイノリティの子どもの権利

### ■ストリート・チルドレン・児童労働・少年兵・海外にルーツのある子ども

著書名	編著者名	発行所	発行年
人民間の平和ならびに相互の尊重および理解の理念を青少年の間に促進するための宣言	国際連合広報センター		1966.5
児童観人類学序説 A.A.LA 教育叢書Ⅲ	古川 原	亜紀書房	1978.9
軍縮か 滅亡か われわれの選択	国際連合広報センター		1982.5
食糧問題ときみたち 岩波ジュニア新書46	吉田武彦	岩波書店	1982.5
世界の平和・軍縮教育 —'82年国際シンポジウム報告書—	WCOTP・日教組報告書編集委員会	勁草書房	1983.7
アパルトヘイト、なぜ？—南アの実情、歴史、そして私たち—岩波ブックレット 51	篠田豊	岩波書店	1985.12
わたしたちと朝鮮 高校生のための日朝関係史入門	神奈川県教祖「民族差別と人権」問題小委員会	公文社	1986.7
ユネスコの危機と世界秩序 非暴力革命としての国際機構	最上敏樹	東研出版	1987.2
子ども共和国 自由への壮大な試み	エーバーハルト・メービウス 栗山次郎訳	風媒社	1987.5

ストリートチルドレン 都市化が生んだ小さな犠牲者たち	日本ユニセフ協会・訳 緒方貞子監修	草土文化	1988.12
チルドレンズ・ライツ いま世界の子どもたちは	チルドレンズ・ライツ刊行委員会	日本評論社	1989.11
外国人労働者と人権 日本・タイ関係研究の現場から	江橋 崇	法政大学現代法研究所	1990.3
子どもにどんな地球を残しますか	日本ユニセフ協会	福武書店	1991.3
路上で目覚める子どもたち ストリートチルドレン・ブックレット	国際子ども権利センター もあの		1991.5
アジアに生きる子どもたち	松井やより	労働旬報社	1991.9
生きていることも共和国 ドン・キホーテの末裔たち	村田栄一	風媒社	1991.11
奴隷化される子供	ロジャー・ソーヤー 西立野園子訳	三一書房	1991.11
この差別の壁をこえて わたしたちと朝鮮 第2集	神奈川県教組「民族差別と人権」問題小委員会	公人会	1992.9
問われる「社会貢献」 変貌するPKOと国連改革	前田哲男	アドバンテージサーバー	1993.3
多民族・多文化・共生	神奈川人権センター		1994.6
地球のともだち	ユニセフ協会		1995.3
子どもを喰う世界	ピーター・リーライト さくまゆみこ・くぼたのぞみ訳	晶文社	1995.7
ラテンアメリカ 子どもと社会	奥山恭子・角川雅樹	新評論	1994.3
田沼武能 写真集「トットちゃんが出会った子どもたち」	田沼武能	岩波書店	1996.8
セーブ・ザ・チルドレンの世界	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン		1996.8
ちいさな労働者 写真家ルイス・ハインの目がとらえた子どもたち	ラッセル・フリードマン 千葉茂樹訳	あすなろ書房	1996.10
近代アイヌ教育制度史研究	小川正人	北海道大学図書刊行会	1997.5
日本で暮らす外国人の子どもたち 定住化時代と子どもの権利	自由人権協会(JCLU)	明石書店	1997.7
発展途上国の児童労働 子だくさんは結果なのか原因なのか	藤野敦子	明石書店	1997.12
子どもの人権叢書③ マイノリティの子どもたち	中川明	明石書店	1998.1
ハンドブック 国際化のなかの人権問題	上田正昭	明石書店	1998.11
インドで働く子どもたち ぼくたち、わたしたちの声をきいて	甲斐田万智子・坂上あゆ子・馬場理一・近藤ルミ	国際子ども権利センター	1998.11
アメリカ大都市の貧困と差別 仕事がなくなるとき	ウィリアム・J. ウィルソン 川島正樹・竹本友子訳	明石書店	1999.3
月刊 子ども論② インドで子どもたちが語る「児童労働と NGO 活動」	クレヨンハウス		1999.11
外国人市民と政治参加	宮島	有信堂	2000.3
働く子どもたちへのまなざし 現代世界における子どもの就労	ミシェル・ボネ 堀田一陽訳	社会評論社	2000.10
国際教育教育論	内海成治	世界思想社	2001.12

東京シューレ・ナソップ訪問記 ベルーの働く子どもたち ある遺言の行方	東京シューレ		2002.6
世界の子ども兵 見えない子どもたち	レイチェル・ブレット マーガレット・マカリン	新評論	2002.7
数字で見る子どもの国籍と在留資格	奥田安弘	明石書店	2002.11
子どもたちが社会を変える ～ペルー・ナソップ 働く子どもたち～	東京シューレ／ナソップ招へい実行委員会		2003.3
未来って何ですか ぼくがいちばん撮りたかったもの	郡山総一郎	新日本出版	2004.11
赤道の国で見つけたもの アフリカの子どもたちと共に生きて	市橋さら	光文社	2004.12
子どもたちのアフリカ <忘れられた大陸>に希望の架け橋を	石 弘之	岩波書店	2005.4
難民キャンプの子どもたち 岩波新書 946	田沼武能	岩波書店	2005.4
ダイヤモンドより平和が欲しい 子ども兵士・ムリアの告白	後藤健二	汐文社	2005.7
リトル・ソルジャー	バーナード・アシュリー作 さくまゆみこ訳	ポプラ社	2005.8
ぼくは13歳 職業、兵士 あなたが戦争のある村で生まれたら	鬼丸昌也＋小川真吾	合同出版	2005.11
心の手をつなごうえー 子どもが考える子どもの人権	赤川次郎監修 アムネスティ・インターナショナル日本編	コモンズ	2006.3
多文化に生きる子どもたち	山田千明	明石書店	2006.6
子ども兵の戦争	P・W・シンガー 小林由香里訳	日本放送出版協会	2006.6
フィリピンの少女ピア 性虐待をのりこえた軌跡	中島早苗・野川未央	大月書店	2006.8
教育噴火 経済発展する中国、広がる学歴社会	シューレ大学不登校研究会	東京シューレ出版	2006.9
モンゴルのストリートチルドレン 市場経済化の嵐を生きる家族と子どもたち	長沢孝司・今岡良子・島崎美代子 モンゴル国立教育大学 SW 学科	朱鷺書房	2007.3
戦場から生きのびて ぼくは少年兵だった	イシメール・ベア 忠平美幸訳	河出書房	2008.2
この子を救えるのはわたしかもしれない	ワールド・ビジョン・ジャパン	小学館	2008.3
社会的排除 参加の欠如・不確かな帰属	岩田正美	有斐閣	2008.12
戦火をくぐった唄 三日月先生と三人の子と	西村滋	講談社	2009.7
HOV Hear Our Voice 子ども参加に関する意識調査 2014	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン		2014.12
越境する平和学 アジアにおける共生と和解	金 敬黙	法律文化社	2019.10
日本にも存在する児童労働 ～その形態と事例～	ACE		2019.12

## B-9 その他

## 未収録

- 1) 情報・メディアと子どもの権利
- 2) SDGs・地球環境と子どもの権